

特 26  
885

~~特 30~~  
~~519~~

清國直隸總督李鴻章氏



1193827/23

現今支那言語風俗獨案內序

吉備山人著支那言語風俗獨案內使讀者未涉其地

而自得其要領乃來謁予序予曰有是哉此書益於世

不少也夫支那者地大人衆與我最近而為同文之

邦若全善鄰之誼則有事之日當左提右挈輔車相依

無事之日當互市貿易有無相通然則其地理物產風

俗人情固不可不豫知也今吾邦人往往賤支那人而

醉飲米水陳疴而親遠是豈非齊之所以亡於秦耶蓋

謂支那人陋俗汚習不足以齒安知入彼國中不有飲

食之奉宮室之飾高於我一等者哉其流寓我邦者賤



商黠賈而已非我邦淫婦賣情者亦至彼國耶若欲以  
賤商黠賈蔽彼風俗則彼亦欲目我以淫婦之邦吾何  
得而甘心焉抑邦人之爲是言者亦有故其不諳彼國  
形勢之所致也然則此書之爲卷雖小其益於世豈不  
大哉是爲序

庚寅穀雨前三日阪都梅崖山本憲撰

序

國利民福ヲ冀圖シ富國強兵ノ實ヲ擧ゲント欲セ  
ハ宜シク通商貿易ヲ盛ナラシメザル可カラズ通  
商貿易ヲ盛ナラシメント欲セバ其ノ國情ノ如何  
ニ關セス其ノ行爲ノ如何ニ係ハラズ其ノ國普通  
ノ言語人情風俗ヲ知得スルヲ尤モ必要トナス所  
ナリ是レ通商貿易ヲ企圖スル者ノ首トシテ其國  
ノ言語人情風俗ヲ知ルノ必要ヲ感スル所以ナリ  
而シテ之ヲ遠キニ求メ難キニ圖ルト之ヲ近キニ  
求メ易キニ圖ルト其何レニ利有ルヤハ既ニ世人

ノ記臆スル所タルハ信シテ疑ハザルナリ然ルニ  
却テ之ヲ遠ク難キノ歐米ニ求ムルニ汲々タルモ  
ノ多クシテ之ヲ近ク易キノ支那國ニ求ムルモノ  
甚ダ少ナルハ何ソヤ他ナシ是レ唯新ヲ術フニ汲  
々トシテ未ダ利ヲ見ルニ暗キノ致ス所而已徒ラ  
ニ其ノ國情行爲ヲ嫌惡シテ利ヲ圖ルニ汲々タラ  
ザルノ弊而已然リト雖モ通商貿易ヲ盛ニシ其利  
ヲ得ント欲セバ其ノ國情ト行爲ハ之ヲ論ス可カ  
ラス唯利以テ貴シト爲ス可キノミ況哉之ヲ近キ  
ニ求メ之ヲ易キニ圖ルハ一般人情ノ常則ナレハ

早晚支那貿易ノ盛ンナラザル可カラザルハ經濟  
社會ノ會テ是認スル所ナル而已ナラス世ノ具眼  
者ノ夙ニ之ヲ計畫スル所ナリ余于茲見ル所アリ  
漫リニ秃筆ヲ揮フテ自ラ一書ヲ編シ支那國現時  
ノ言語人情風俗ヲ知ラント欲スルモノ、一端ニ  
供シ支那貿易ノ隆盛ヲ企圖セント欲スルモノ、  
參考ヲ煩ハシ聊カ世ニ裨補スル所アラント希フ  
諸子幸ニ余ガ微意ノ存スル所ヲ諒セラレントナ  
矣

明治二十三年五月

編者識

支那今言語風俗獨案内

凡例

○此書ハ支那ノ風俗言語ヲ記スルト雖モ逐一詳ラカナルニアラス只其大躰ヲ概略ニ書シテ幼生ノ楷梯タラント欲スル而已

○右ニ付ケタル假名ヲ唐音支那語トス左ニ付ケタルヲ普通ノ字音日本語トス

○支那ハ大國ニシテ四方ノ風俗一ナラザルベシ當今彼我往來交通スルモノ南方ヲ以テ最トス故ニ專ラ南方ノ風俗ヲ畧記ス北方天津等ノ風俗大同小異無ルヘカラス我カ長崎ト松前モ又同シ既ニ記スルニ畧ヲ以テス讀者其粗漏ヲ咎ムルヲ勿レ

八

○記事課ヲ分ケテ九目トス其類ニ仍テ見易カラシムカ爲ナ  
リ都テ支那ノ事情ヲ記サントスレハ何ソ能ク小冊子ノ  
尽スヘキ所ナランヤ只其一班ヲ見聞ニ就テ記シ彼我交  
通ノ便ニ供セントス

目次

言 歳 教 冠 衣 請 生 祭 雜  
語 時 育 婚 服 客 死 禮 事

支現  
那今  
言語風俗獨案内

語

十一  
九箇  
七箇  
五箇  
三箇  
一箇

十二  
十箇  
八箇  
六箇  
四箇  
兩箇

吉備山人編纂  
五無齋處士校閱

十三  
 十五  
 十七  
 十九  
 念一 (廿一)  
 三十  
 五十  
 三百  
 一千  
 一億

十四  
 十六  
 十八  
 二十  
 念五  
 四十  
 一百  
 五百  
 一萬  
 一位

一名  
 一本  
 一首  
 一張 (一枚)  
 一件  
 一片  
 一燦  
 一包  
 一把  
 一節

一部  
 一句  
 一篇  
 一套 (一組一揃)  
 一枝 (一本)  
 一根  
 一粒  
 一疋  
 一串  
 一段



一 隻 シヨク  
一 次 ツ  
一 遭 シ  
幾 百 チイ  
幾 萬 チイ  
幾 月 チイ  
幾 位 チイ  
幾 張 チイ  
幾 盃 チイ  
幾 正 チイ

一 樣 シヨク  
一 回 キ  
幾 箇 チイ  
幾 千 チイ  
幾 年 チイ  
幾 日 チイ  
幾 部 チイ  
幾 件 チイ  
幾 條 チイ  
幾 匹 チイ

一 塊 コク  
一 提 チ  
一 卷 チ  
一 對 チ  
一 鎗 チ  
一 雙 シ  
一 升 シ  
一 石 シ  
一 盃 シ  
一 匹 シ

一 擔 チ  
一 蓋 チ  
一 座 チ  
一 門 チ  
一 棵 チ  
一 斤 チ  
一 斗 チ  
一 碗 チ  
一 瓶 チ  
一 口 チ

幾俊 チイチ 幾回 チイホイ 身上 シエンシヤ 容貌 コンモウ 頭頂 トウツク 頭髮 トウツフ 臉面 レンミン 額額 アノ 太陽 タイヤウ 天堂 テンタウ

幾包 チイパウ 身體 シエンシヤ 面貌 メンモウ 頭上 トウツク 腦後 ノウゴ 髮髮 フツ 面孔 ミンコウ 皺皮 シウヒ 太陽 タイヤウ 眉頭 メイトウ

眉骨 メイコウ 眉間 メイケン 耳孔 コウ 眼睛 イエンチン 瞳子 トウシ 眼毛 ヤウモウ 鼻尖 ビチエン 鼻梁 ビチア 面頰 メンキヤ 口兒 カウニ

眉毛 メイモウ 耳朶 アノ 耳墜 チヨ 眼珠 イエンチツ 眼眶 イエンクワン 鼻子 ビチ 鼻間 ビチケン 人中 ニンチュウ 笑靨 シヤウヤク 口角 カウカク

嘴唇 ツチ  
牙齒 イキ  
牙根 イキ  
舌根 シヨ  
結喉 チエ  
腮骨 サイ  
肩頭 チエ  
肩背 チエ  
雙手 シヨ  
手臂 ベ

鬚髮 ハ  
牙肉 イキ  
舌頭 シヨ  
喉嚨 カ  
下爬 シ  
首級 シ  
肩背 チエ  
四肢 シ  
手腕 シ  
脈堂 コ

拳骨 チ  
手背 シヨ  
手指 チ  
中指 チ  
指節 チ  
脇下 チ  
胞腔 ヒ  
心窩 シ  
肚腹 ト  
小肚 シ

手掌 チ  
手紋 チ  
人指 ヒ  
小指 シ  
指爪 チ  
脇骨 チ  
乳奶 ル  
心中 シ  
肚臍 ト  
背後 ベ

脊梁

腰骨

脚頭

雙腿

小腿

脛骨

脚面

指甲

筋骨

魂魄

腰邊

屁股

雙脚

大腿

膝頭

脚後

脚指

毛孔

肌膚

魂靈

道身

男子

女子

客人來 (客人力來タリシ)

請客人 (客ヲ招ク)

客人多

不是客 (客ニアラズ)

作東家 (主人)

客々々

纒拜見 (ヤツト拜見セシ) (唯今初メテ御目ニ掛リシ)

男女

漢子

婦女

有客人

有位客

好接客 (接待ヲ好ム)

沒甚客 (別段客ハナシ)

有客來 (アル客力來リシ)

初相見 (初目メミエ)

未曾見

還未見 (マダ遇ハス)

何曾見 (イツ遇ヒシ)

要相見

面熟的 (見覺アル)

只得你 (汝ナ余儀ナクセシ) (無余儀汝ガ)

會得丫 (出遇ヒシ)

遇着他 (彼ニ遇ヒ當テシ)

遇過丫 (過ヒシ)

見面過 (面會セシヨアリ)

便路了就去見 (順路ユエスガ 遇ニ行カシ)

不相見

不見你 (汝ニアワザリシ)

面生的 (見識ラズ人) (見覺ナキ人)

有些面熟 (幾ラカ見覺ガアル)

會他來 (彼ヲ呼ロ來タレ)

不好會 (遇ヒニクシ)

不着的

拜遲了 (サバキ遅レシ)

不見面

不照顧 (世話セヌ) (カマソヌ)

不見人

新相和 (新知巳)

在家的

在家裏

有人住

我當家 (私シカ亭主デス)

在門內

元舊的 (モトノ)

出外 (旅ニ出ル)

失陪阿 (失禮シマス) (御別レ申シマス)

拜過的 (御面會セシ)

在家麼 (在宅カ)

不在家

有人麼 (人アルカ) (御客デスカ)

現在的

在門外

還在新的 (マダ居ル)

出門

擔閣了 (延引セシ) (ナゲチキシ)

多慢阿 (失敬デシタ)

有慢你 (全下)

怠慢他

不替陪 (同伴セシコナシ)  
(同席セシコナシ)

陪我吃 (私シニ附イテ食ヘ)

不送了 (全前)

送出來 (送り出ス)

請留步 (ド一カコレテ)

告別了 (御暇致マス)

辭得脫 (辭退スル)  
(コトワル)

寬容你 (汝ヲユルス)

怠慢你 (失禮セシ)

好一陪

不來陪 (同伴ニ替リマセヌ)

不及送 (御送申サヌ)

去送別 (送りニ行ク)  
(送別ニ)

少送哩 (御送り申シマセヌ)  
(失禮致シマス)

陪還他

告辭了 (全上)

推斷了 (拒絕スル)

且慢些 (モ一スコシユックリナサイ)  
(少シ遅クセヨ)

請寬吵 (御用捨被下)

請先生 (先生ヲ聘スル)

不去定 (行カヌト極メシ)

請坐々 (御座リ被下)

請下去 (ド一カ御ワリナサレ)

請寬力 (ド一カ御休ミナサレ)

坐上去

坐不定

外首坐 (外ニ御スワリ)

那裏去 (ドコニ行ク)

恕送你 (失敬致シマス)

替他辭 (彼ノタメニコトワル)

請上來 (ド一カ御上リナサイ)

請坐之

請寬坐 (御クツロギ被下)

請上坐 (ド一ツツツト)

裏邊坐 (奥ニ御スワリ下サレ)

坐慣了 (スワリ慣レシ)

腕着的

往何處 (全上)

那裏去 (ドコニ行ク)

外首坐 (外ニ御スワリ)

那裏去 (ドコニ行ク)

去了麼 (御出ナリシカ)

不好去 (全上)

正好來 (來ルニ都合ヨシ)

不便來 (來ニクシ)

不會去 (行キシコナシ)

這裏來 (此チラへ來レ)

不好來 (來ニクイ)

偶然來 (フトクル)

來得早 (來方カ早イ)

來得巧 (チヨード能キ處へ)

不便去 (行キ惡イ)

正好去 (チヨード行クニ都合ヨシ)

不過去 (行カヌ)

鄉下去 (田舎ニユク)

不會來

好過來 (來ヨイ)

來得好 (丁度能キ處へ御來給)

來得遲 (來方カ遲イ)

來得怪 (來方カ怪イ)

來得奇

不要去 (行ニ及バヌ)

來不得 (來ラレヌ)

來哩呀 (御出ナサレ)

他不來

你要來 (汝ハ來ヨウト思フカ)

喚你來 (汝ヲ呼ヒニ來ル)

跑了來 (駈ケテ來ル)

私下去 (ヒソカニ行ク)

跑回來 (駈歸ル)

請先行 (ドイカ御先キニ)

去不去 (行カ行ヌカ)

不敢來 (來ニクイ)

不來阿

停回來 (歸リ來ル)

舍下來 (宅へ御出)

同去的 (一處ニ行キシ)

特々來 (態々來ル)

準定去 (吃度行ク)

後日來 (アサツテクル)

走動的 (運動)

早上來 (朝來ル)

前日來 (チトツイキタリシ)

沒有來 (來ラス)

不出來 (デヌ)

侵早來 (アサツバラ來ル)

日々來

請他來 (彼ヲ招キ來タレ)

不肯來

走出來

絕早來 (極早く來タレ)

請了來 (招待シ來タレ)

叫他來 (彼ヲ呼ビ來レ)

催他來 (彼ヲ催促シ來レ)

喚他來

呼喚他

叫你去

邀他來 (彼ヲ誘ヒ來タレ)

拉他來 (彼ヲ引キ來タレ)

私下走 (ロンカニ行ク)

一同去

都不來 (皆ナ來ヌ)

肯來的

同你去

同他去

同來了

走進去 (這入リユク)

進得去 (這入ラレル)

好出去 (出ルニ都合ヨシ)

好進去 (這入ニ都合ヨシ)

大家來 (大勢テ來ル)

來得多 (來方カ多イ)

早些來 (少シ早く來タレ)

快些來 (少シ早く來タレ)

走開去 (ヨケル)

侵早去

走得急

走得急

走散了

赤脚夫 (スアシモノ)

巡開去



請走開 (ドーカ御ヨケ被下)

退散了

榮歸了

逃去了

賞花了

看花去

頑要去 (遊ヒニ行ク)

打獵去

不回去

且回去

想回去

要回去

釣魚去

騎馬去

轉了來

轉過來

是路去

轉過去

打轉來 (旋リ來ル)

差使去 (御用ニテ行ク)

轉筒灣 (角ヲ曲カル)  
已去了

倒不來  
已來了

歲時

○正月元日官員ハ朝服ヲ着シ開棍皂隸先導シ橋子ニ乘リ  
 參内ス拜賀ノ式ハ文官ハ東ニ列シ武官ハ西ニ列ス品級ニ  
 隨ヒ列ヲ分チ萬歳ヲ唱ヘ三跪九叩頭ノ禮ヲ行フ退朝ノ後  
 諸衙門互ニ往來年賀ヲ述フ七日迄ハ内外共朝服ヲ脱セス  
 ○地方官ハ朝服ニテ開棍皂隸行牌涼傘旗ヲ先ニ備ヘ  
 從へ所々ノ寺院ニアル龍牌ヲ拜ス

縣令夫々名帖ヲ持チ互ニ年賀ス七日迄ハ朝服タリ

○官員平民共元朝ニ先ツ衣服ヲ改メ天地ヲ拜ス次ニ家廟

ノ木主ヲ拜シ爾親ヲ拜ス奴僕ハ主人ヲ拜ス家廟ニハ香花

燭燈酒并ニ茶飯菓子菱子龍眼肉ノ類ヲ陶器ニ盛リテ供ス

禮拜終リ喜神ノ方ニ向ヒ神廟佛寺等ニ參詣ス

迄ノ内親族朋友互ニ往來シテ年賀ス屠蘇酒年糕等ヲ出ス

アリ各名帖ヲ持行クナリ又飯時ニ來ル禮客ヘハ煖鍋ト

テ我カ鍋燒ヨウノ小菜ヲ食セシム其品ハ綠豆麪鷄鴨肉圓

香菰冬筍火腿海參魚翅又一法ノ小菜ハ魚火腿盤蛋蝦米盤

蘿蔔炒骨青菜紅棗等有合ニ任セ増減スルナリ

○元旦ニハ試毫トテ吉利ノ文句ヲ赤紙ニ書ス又吃素者多

シ年ノ始メナ慎ム故ナリ三日比ヨリ春酒新年酒ナド、

唱へ親類朋友ヲ招請シテ酒宴ヲ儲ク前日請帖ヲ遣スナリ

○商家ハ元日ハ招牌ヲ引キ内店ニテ賣買ス曆ノ開市ト云

日ニ招牌ヲ掛ケ開店シ酒宴ヲ設ク舟人ハ出行ト云日ニ乘

初メスルナリ又盤帳ト云テ店卸ノ勘定ハ開市ノ前後ニシ

テ舊年ノ損益ヲ見ルナリ

○正月七日ヲ人日ト云人ノ始テ生レタル日故人日ト云也

八日ヲ穀日九日ヲ豆日十日ヲ綿日ト唱フ此四日天氣和晴

ナレハ豐年也ト云又立夏ノ日ニ秤人ト云テ人ノ斤量ヲ見

ルコアリ是レ夏瘦ヲ量ル爲メナリトゾ

○十三日ヲ上燈十五日ヲ元宵十八日ヲ落燈ト云此六日間  
ヲ燈夜ト云テ貴賤其家々ニ燈火ス其間ハ市街ノ空地ニ戲  
臺ヲ拵ヘ做戲ヲ罷ス又富街ハ燈棚トテ軒ヨリ軒ヘ互ニ竹  
ヲ渡シ上ニ幔ヲ掩ヒ種々ノ細工燈籠ヲ燃ス役所向キニテ  
モ燈籠見物人ハ出入ヲ禁セズ十五日上元ノ夜ハ別テ開熱  
ナリ是ヲ放夜ト云フ

○毎月朔望ニハ天子便殿ニ出御諸官員拜賀ス地方官ハ其  
所ノ寺院ニ至リ龍牌ヲ拜ス元旦ノ如シ皇帝生日ノ拜元日  
ト全シ國忌ハ大祖皇帝ヨリ代々ノ皇帝皇后ノ忌辰ニハ諸

衙門ヲ閉チ門前ニ案ヲ居ヘ其上ニ某ノ皇帝皇后忌辰ト書  
タル牌ヲ置諸官素服シテ是ヲ拜シ一日休政民間モ鳴物ヲ  
禁ス

○正月十五日ハ天官ノ誕日七月十五日ハ地官ノ誕日十月  
十五日ハ水官ノ誕日ナリ是ヲ三官菩薩ト号シ諸人寺院ニ  
詣ス天官ハ福ヲ玉ヒ地官ハ罪ヲ赦シ水官ハ火災ヲ除ク佛  
ト云テ信仰ノ者多シ又毎月二日十六日ヲ送福ト唱ヘ五路  
財神ヲ祭ル趙玄壇ヲ本尊トシ招财招寶利市納珍此四神ヲ  
脇立トス三姓香燭ヲ供フ錢財ヲ司ル神トテ商家是ヲ祭ル  
○正二三月ノ間小兒紙鸞ヲ揚ル一名鶻子ト云風箏ヲ付ル

等我カ小兒ノ  
戯レト全シ 又二月二日ハ土地神ノ誕日ト云テ家々香燭ヲ供  
へ祭ル

○二月上ノ丁日ハのこハ孔子ノ祭リニテ諸州府縣ノ聖廟ニ官ヨ  
リ釋菜ノ禮アリ諸人群參ス同十二日百花生日ホアチヤウヲ花朝ト唱  
へ一省毎ニ安置セル花神廟ニ供物香燭ヲ備へ諸人參詣ス  
花神ハ十三體アリ正月ハ手ニ梅花ハイホクアヲ持ツ二月ハ杏花イホクア三月  
ハ桃タウ四月ハ薔薇スワンウイ  
いはら五月ハ榴リウ六月ハ荷ホク七月ハ秋海棠ツイツハイ  
タシ八月ハ桂クイ  
九月ハ菊キク十月ハ芙蓉フイフヨウ十一月ハ山茶花サンチャウ  
ハクア十二月ハ臘梅ラハク  
ハク閏月ニ  
ハ牡丹タウダンヲ持ホクタル神也同十九日觀音菩薩ノ誕日ト稱シ諸  
人別テ信仰ノ佛ユヘ香燭ヲ備へ寺院ニ群詣ス

○三月上巳ノ日家々ツアイツイホア  
あつち菜ツアイツイホア  
あつち薔花ツアイツイホア  
あつちヲ門戸ツアツツヤレ  
ウツ灶上床ツアツツヤレ  
ウツへ挿ム以テ蟻アリヲ  
制ス又清明ノ日家々柳枝ヲ門戸ニ挿ム諸虫生セサル爲メ  
ナリト又同時ニ掃墓サウモリ一名掃祭サウツツトテ先祖ノ墓所へ參リ三牲  
菓々香燭ヲツクヘ卓上ニ供シ酒ヲ澆奠シ冥衣メイイ大金ダイキンヲ燒シ冥衣ト  
ハ衣服ヲ書キタル紙大金ハ金箔ヒキヲ置キタル紙則衣服金銀  
ヲ手向ルノ意ナリ祭リ畢リテ近郊ノ祠堂ニ宴ヲ催フス湖  
邊ハ船遊ヒヲモスルナリ  
○清明ノ内諸州府縣ニ勅命有テ其地ノ城隍廟シヨウメイヤウヲ祭ル神像  
ヲ橋子ニ乗セ銅羅ヲ打鳴ラシ行牌旗涼傘鸞駕ヲ列シ鼓樂  
ヲ奏シ近郊ノ廟壇ニ像ヲ居へ三牲供物ヲ並へ無縁ノ亡靈

ヲ祭ル是ヲ祀孤ト云官員禮畢テ后平民參詣ス知事縣令ハ  
生民ヲ司ル故ニ陽官トシ城隍ハ亡靈ヲ司ル故ニ陰官トス  
城隍神ハ世々ノ地  
カ官ノ賢者ヲ祭ル

○三月十五日趙玄壇ノ誕日トテ祭ル送福ノ式ニ同シ玄壇  
ハ殷ノ總兵官タリ後人其德ヲ感シ神ニ祭リ錢財ヲ司ルト  
云故ニ商家モツトモ之ヲ信ス廿三日ハ天后聖母誕日ノ祭  
リアリ春秋ノ祭ハ上ノ祭ノ日ヲ用ニ廟前ニ做戲アリテ諸  
人群參ス

○立夏前後帽子替ヘノ事アリ前ニ朝廷ヨリ幾月何日換裁  
帽ト云ル勅命アリ暖帽ヲ涼帽ニ替ルナリ九月ニ暖帽ニ替

ル時日勝手次第ニテ命ナシ靴子ハ年中全シ又立夏端午中  
秋冬至歳暮ニ書學ノ師醫師等ヘ謝儀ヲ贈ル元糸銀ヲ白紙  
ニ包ニ赤紙ノ袋ヘ入レ小長赤紙ヲ掛ケ謝儀ト書キ下ニ姓  
名ヲ記ス

○四月八日釋迦佛誕生日ヲ祭ル我カ國ノ佛  
生會ト全シ同十四日呂洞賓ノ  
りよらひん誕日又呂純陽先師ト云廿八日神農ノ生日此兩日醫家ニハ  
畫像ヲ掛ケ供物ヲ備ヘ祭宴ヲ開ク

○五月ハ朔日ヨリ五日迄節期ニテ賣買ノ代金ヲ決算ス互  
ニ書付ヲ以テ取り遣リス之ヲ送帳ト云掛ケ金ヲ受ケ取ル  
也八月十二月又同是ヲ三期ト雲端午ニハ家々粽子ヲ作ル

糯米粉ヲ苜葉ニ包ミ麻皮ニテ結ヒ煮ル又雄黃オウゴン菖蒲根セウブノネヲ細末ニシ少シツ、酒ニ入呑ム小兒ハ大黃オウゴン大蒜オウゴン菖蒲根セウブノネヲ少シツ、糸ニ貫キ身ニ提ケサセ又雄黃オウゴンノ粉ヲ酒ニ交セ面部ナドへ塗り邪氣ヲ避ケ海虫ヲ禁スト云婦人ハ人形フナウイ虎蜈蚣ヒメトコ等ノ形ヲノ簪かんざしヲ挿ム之ヲ健符ト云又堂上へハ鍾馗チュウケイ關羽クワンウノ像ヲ掛テ祭り邪鬼ヲ拂フ同日親族互ニ粽子ツチノシ魚菜實等ノ贈リ物アリ八月十二月モ同シ是ヲ三節禮ト云物品長數ヲ用ヒテ半數ヲ忌ム又朔日ヨリ六日迄江湖アル地方ハ龍船ロウセンヲ浮へ競渡ス船上旗數本ヲ建テ銅羅太鼓笛等ヲ鳴ラシ五ニ勇ヲ鼓シ早キヲ爭フ見物人ヨリ家鴨キヤッコヲ放チ又ハ酒壺ノ内

ニ賞銀ヲ入レ口ヲ封シ流ス龍船ノ者先ヲ爭ヒ之ヲ取ル是レ昔シ吳人ウジン屈原クワンヲ吊フ遺俗ナリト同十三日ハ關聖帝クワンセンテイ歸天ノ日ニテ大祭アリ二月八月モ同シ諸人信節ノ神故三牲菜物香燭ヲ供シ尊敬ス  
 ○六月炎暑ノ節オウゴン大蒜オウゴンヲ搗キ凍瘡ニ塗ル又日ニ燒ケタル瓦ヲ當レハ其冬凍瘡生セスト云又氷賣人アリ遠路魚ヲ送ルニハ氷ヲ以テ腐敗ヲ防ク故ニ魚商ノ氷ヲ買フ者多シ  
 ○七月七日ハ巧日ト唱へ露臺ツツミ樓前ルマエニ出セル家根ナキ様ノ如キモノニ卓つくさヲ居へ菓物七品針七本絹糸七筋ケンシウヲ牽ひ織オリ女メノ二星ニ供へ祭ル夜半女兒拜シテ供へタル針ニ糸ヲ通ス之レヲ穿針乞巧ト云同日家

々菊葉菱子アザミ茄子ナス蘭花ラン豆マメニ麥ノ粉ヲ加ヘ油ニテ揚ケ食ス之  
ヲ巧菓ト云キョウカ

○七月十二日祖靈ヲ迎フ我國盆中 佛事同 齋堂ノ上座ニ卓ヲ置キ香  
華燈燭茶湯ヲ供シ拜ス之ヲ接祖先ト云ツエーツースエン十三日ヨリハ魚鳥  
野菜酒飯ヲ供ス僧來ツテ誦經ス中元ニハ城隍廟ノ陰官ヲ  
祭ル三月ニ同シ晦日ハ地藏菩薩ヲ祭リ其安置スル所ノ寺  
院ニ參詣ス又家々門前ニ卓ヲ置キ香燭ヲ供シ線香ヲ焚ク  
人一人毎ニ蠟燭二本ヲ竹杭ニ差シ地上ニ建列子火ヲ点ス  
之ヲ地燈ト云チノチ

○八月三日灶神ツツツンノ誕日トテ香燭糕ヲ供ヘ祭ル同十五日ハ

月宮ツキミノ誕日ト云テ各露臺ニ卓ヲ設ケ祭ル香燭并ニ月餅菓  
實ヲ供シ又明月ヲ賞シテ宴ヲ張ル之ヲ看月會ト云同十八  
日ヲ潮生日ト云海邊ハ平潮ノ時砂汀ニ卓ヲ居ヘ香燭ヲ備  
ヘ猪羊酒ヲ供シ地方官屬吏ヲ從ヘ海面ニ向ヒルウグイ一ニ晚六叩首  
ノ禮ヲ以テ拜ス

○九月九日家々栗クリ糕カウトテ米粉ト栗肉ヲ交セ餡ト糕ヲ作り  
器皿ニ小旌ヲ插シ灶神ニ供ス登糕ト云同日重陽ト號シ酒  
食ヲ携ヘ山上ニ登リ遊觀ス之ヲ登高ト云又天后廟ノ前ニ  
做コヒ歲セスセリ

○十月朔日十日朝ト云祖先ノ墓前ニ詣シ家廟ニ燭香菓實

ナ供へ祭又中元ノ如ク城隍廟ノ祀孤アリ清明中元十朔ノ  
 三祀ヲ鬼節ト云テ亡靈ヲ祀ル又元旦中秋冬至ヲ人節ノ三  
 節ト云冬至ニハ諸官元日ノ如ク朝服シテ參内拜賀ス地方  
 官其所ノ龍牌ヲ拜シ平民ハ寺院へ詣ス家々酒宴ヲ開キ一  
 陽來復ヲ祝ス又團子ヲ食フ十一月四日ハ孔子ノ誕日ニテ  
 聖像ヲ祭リ禮拜ス  
 ○十二月八日ヲ臘八ト唱へ寺々菓粥ヲ檀家へ贈タル同十  
 五日ヨリ謝神トテ各六神前ニ記スル趨  
支壇等ノ六神へ三牲香燭ヲ供シ年中守  
 護ノ恩ヲ謝スト云フ又正月半バ迄ノ間家々爆竹ヲ行フ厚  
 キ紙ヲ長サ三四寸ノ筒へ火藥ヲ詰メ門庭ニテ火ヲ点シ放

ツ響砲トモ云又六七寸ノ花炮ヲモ放ツ是レ邪氣ヲ逐フ意  
 ナリ同廿日比ヨリ吉日ヲ撰ヒ掃塵又打掃ト云テ屋内ヲ掃  
 除ス廿四日ハ灶神上天ノ日トテ家々香燭豆腐菓子ヲ供へ  
 拜シテ神ヲ送ル正月元朝ニ同シ祭リヲシテ神ヲ迎フ舊年  
 祭リタル灶神ノ札ヲ新ク書キタルト張り替ル也同日比ロ  
 ヨリ親類互ニ歳暮ノ贈答アリ又寺々ヨリ檀家へ節禮ノ贈  
 リ物アリ俗家ヨリモ到來ノ品ニ應シ銀包ノ返禮アリ廿七  
 日ヨリ近キ親類ノ内兒女アレハ互ニ年糕橄欖胡桃龍眼橘  
 子銀子ヲ贈ル是ヲ押歲錢ト云歳暮ニ贈ラサレハ年始ニ贈  
 ル使ノ者へ祝儀ヲ遣ス銀又ハ錢ヲ赤紙ニ包ミ上ニ尊使又



代茶ト書ス

○十二月晦除夜ハ官員又大家ハ桃符トテ聯一對ニ龍虎朝  
官桃柳平升三級ノ圖ヲ彩畫シ門ノ左右ニ掛ケ邪氣ヲ拂フ  
平民ハ歡樂紙トテ長サ三尺余巾一尺程ノ赤紙ニ金箔ニテ  
福ノ字ヲ切り付ケ下ニハ花形ヲ彫リ上ニ指日高升加官進  
爵福自天來平升三級天官賜福ノ圖ヲ絹ニテ張付ケタルヲ  
堂ノ上面ヘ張ル又官員大戸ハ神茶壘ノ像ヲ門扉ノ左右  
ニ張ル其外貴賤共家ノ正面ノ柱ヘ迎福招慶如意ナドノ吉  
利ノ句ヲ貼シ酒宴ヲ設ケ主人ヨリ奴婢ヘ銀錢ヲ與フ之ヲ  
分歲ト云又萬年粗ト唱ヘ淘羅二ツニ米飯ヲ入レ上ニ松柏

ノ枝ヲ挿ム橘子菱子ヲ置キ初春三ケ日飾リ置ク是ハ家ニ  
糧アリ食乏シカラヌヲ祝スルナリ

○立春ノ前日府日府州縣共ニ太歲ト春牛トヲ作ル各臺ニ  
乗セ太歲ニ春牛ヲ牽ヒ郊外ニ置キ地方官衣服ヲ改メ各春  
花ヲ持テ金鼓ヲ打テ涼傘ヲ豎テ列行ス是ヲ行春ト云近郊  
ヲ巡リ又城市ニ迎へ入ル之ヲ迎春ト云翌日立春ノ期ニ至  
リ官吏之ヲ請シ又金鼓ヲ打テ護シテ廟裏ニ送ル太歲ヲ安  
置シ大牛ヲ打破シ小牛ヲ前ニ置ク是豊年ヲ祝スルナリ

教 育

○支那ハ孔子ノ生國ナレハ古昔ヨリ儒學ヲ貴ヒ是道ヲ以テ教ヘテ立ツ庶人學成リ對策級第シテ官ニ登用セラル故ニ無學ニシテ開運發達スルモノナシ小兒五六歳ニ至レハ貴賤ヲ問ハス學館ニ就學セザルモノナシ

○一郷ノ中館ヲ設ケ郷黨ノ小兒ヲ教授ス是ヲ問學ト云問學ト云教師ハ無位無官ノ人ナリ又私塾ヲ開キ教導スル人モアリ私塾ハ學館ト云毎年十一月四日ハ孔子ノ誕日ナルヲ以テ是ヲ祀リ生徒迄モ禮拜ス又祠堂寺院ノ室ヲ假リテ教師ニ博學ノ先生ヲ請シテ其地ノ小兒ニ初學ヲ教育スル盛盛ンナリ孩兒孩兒年齡ニ至レハ其父從ヘテ學館ニ至リ拜帖拜帖ヲ出シテ

我兒ノ教導ヲ請フ其時先生作揖作揖シテ承諾ス則結又貧富ニ隨ヒ相應ノ用意ヲシテ入學ノ前後師ヲ家ニ請シ禮禮應スルナリ吉日ヲ撰ヒ門前ヲ打掃シ不敬ノ無キヨウ心ヲ用ユ先生入來ノキハ主人門ニ迎ヘ互ニ禮ヲナス先生主人ニ向ヒ前前日特蒙下臨所以今日踵門踵門拜謝ト挨拶スレハ主人豈敢豈敢ト揖シ上坐ニ請シ椅子ニ坐セシメ茶ヲ出シ請茶ト云先生立禮シ椅子ニ坐ス互ニ寒暖ヲ述ヘ主人孩兒ヲ引連レ書物ヲ持セ先生ノ前ニ揖セシム先生起身シテ拱スルナリ小兒書ヲ出シ一句ツ、口授スルヲ句讀句讀ノ初トス三字經三字經ノ類也式畢テ孩兒ハ書物ヲ收拾シ陪坐ス此卓子卓子ノ上ニ酒肴ヲ並ヘ賓

主互ニ飲ム主人ヨリ客ノ杯ヲ受ルヲ傾盃ト云返盃ヲ回敬  
 ト云フ次ニ小兒ノ奉敬傾盃事畢リ菓子糕品出テ茶ヲ進ム  
 先生款待ヲ謝シ多々キヤウセツチヨシ攪擾重來拜謝ト告辭ス主人立テキヒカシ豈敢  
 怠慢ト互ニ揖シ孩兒共ニ門送送り出テ、別ル是レ入學ノ  
 風俗ナリ

○孩兒初テ學館ニ入ルルハ父兄ノ内ニテ同伴ス各々帖ヲ  
 持シ行クナリ着服ハ賓客往來ノルモ同シ先生ハ書童管童  
 ニ云付テ聖像ノ前ニ蠟カウチヨシ燭カウチヨシヲ供ヘ孩兒ヲシテ  
 禮拜セシメ次ニ先生モ拜ス此ツイキ儀ノ銀包封筒ニ封ニ上  
 ニツエン簽トテ赤紙ヲ小ク切り張付ケ先生へ捧ルナリ先生同門

ノ書生ヲ集メ和氣湯ヲ香マシム之レ朋友ヲ和スル心ナリ  
 是ヨリ毎早旦學館ニ至ル先ツ聖像ヲ拜シ次ニ先生ノ案前  
 ニ作揖シテ自己ノ椅子ニ坐シ書物ヲ案上ニ置ク先生書生  
 ニ向ヒライク來々ハル讀書ト云先輩ノ者ヨリ追次讀書ス都テ生徒ノ  
 前日授リタル所ヲ三四遍讀畢レハ先生右ノ書ヲ取リテ背  
 誦セシム此ハ生徒ハ先生ニ背キ前日習ヒ得タル所ヲ誦ス  
 毎日同シ句讀ノ授ケヨウハ先一句ツ、先生ノ口ウツシニ  
 讀ム三四遍モ同誦シテノチ生徒一人誦スルナリ其間ニ朱  
 ナ以テ句讀并ニ點テンキエン圖トヲ加フ句ハ行ノ右ニ圈シ讀ハ行ノ真  
 中ニ一点ヲ加フ一字兩音義理異ナル字ハ其四聲ニ隨ヒ平

上ジョウ去キョ入ニツヲ分ワケチ圖發ジツス之ハ門生十人已上三四十人位迄ヲ教シヨク育スルノ法ナリ

○門生十人已下ノ生徒ナレハ初學ニハ先ッ塊頭クワイダウ字ヲ以テス方一寸計リノ赤紙ニ一字宛書キタル者ヲ一日ニ一字二字三字ト次第ニ字ヲ見知ラシム之ヲ認字ト云初日ハ三字二日モ三字前日ノ三字ヲモ交テ見知ラシム之レ幼稚ノ者又ハ門生少キ先生ノ教育スル法ナリ凡認字三百字ニ過レハ素讀ヲ教ヘ學業ノ進歩ニ從ヒ四書五經ト讀マシムル也每朝讀書ノ片ハ容ヲ整ヘ志ヲ定メ句讀ス心ヲ付ケ字々分曉ス讀書中他見スルコトナク何遍モ讀ミ遍數滿チテモ背誦

シガタキ片ハ背誦ナル迄幾遍モ讀ムナリ是迄習ヒタル書ヲ帶温復習スル事日々ニ同シ又受業シタ上ニテ會得セザル事アレハ年長ノ書生ニ問ヒ先生ニ直問セス先生ニ問ハズシテ叶ハザル片ハ先生ノ案前ニ至リ某於某事未明又某書未通敢請先生先生ノ答ヘ心ヲ潜メ聞テ坐ニ復ス午時ニ至レハ近邊ヨリ來リ學フ生徒ハ許シテ受ケテ家ニ歸ヘリ吃中飯シ學館ニ來ル遠方ノ生徒ハ送飯ヲ吃シ終リテ習字スハ八点時候ニハ先生講書シ學業進ミタル生徒ハ今聽キタル所ヲ輪講ス畢テ又當日授リタル書ヲ熟讀ス習字ハ工拙ニ拘ハラズ字畫ヲ嚴正ニス款斜差落ノ病ナキヲ成シム習

字ノ初メハ上大人孔乙己化三千七十士爾小生八九子佳作  
 仁可知禮也ト云ル字ヲ教示ス先生朱ニテ書與フレハ生徒  
 墨ニテ填寫スハアヒ把筆墨ヲ摺ルニ斜ニナラヌヨウニ教ユ清書  
 ハ三字或ヒハ四字ヲ書セシム三字書クハ初ノ一字ヲ填  
 寫シ残り二字ヲ自身ニ書ス毎日清書シツク請改ヲ乞ヒ追次ニ  
 千字文又ハ古筆法帖ヲ習フナリタマハレ黄昏ニ至レハ生徒ヲ家ニ  
 歸ヘス歸レハ先ツ土地公灶君ヲ禮シ次ニ父母兄弟姉妹ニ  
 モ禮儀シツク進退周旋ノ禮節ツク懈怠スヘカラズト教導ス是日々  
 習學ノ大概ナリ

○學問ノ進歩ニ從ヒ左傳史記漢書ノ類ヲ能ク熟讀セシメ

義理体裁等ヲモ教ヘ講釋ヲ輪流ニ習ハシ義理達フ所アレ  
 ハ先生逐一ニ之ヲ教ユ如此シ句意文法ヲ會得ス是レヨリ  
 詩ヲ教ヘ文ヲ作ラシムルナリ又官員或ハ富家ノ輩ハ我家  
 ニ先生ヲ請シ孩兒ヲ教ルナリ  
 ○女子學問ノ法ハ男子ニ異ルヲナシ女先生トテウツ寡婦又ハ  
 人ノ妻女學オアルモノ日々其家ニ來リテ女兒ヲ教ルナリ  
 始メハ女訓孝經ヲ教ヘ后ナニハ千字文百家姓四書等ヲ讀  
 マシムツク贊儀束脩モ男子ニ同シ習字モ上大人ヲ習フ后ニハ  
 男女共能筆ノ先生ニ習フウツ女工ウツ婉婉ウツ聽從等ノ事ハ母常ニ之  
 ヲ教ヘ女先生モ之ヲ教育ス

○休日ハ毎年三月清明ツインシ五月朔日ヨリ五日迄七月ハ中元八チヨンソウ月中秋九月重陽十一月冬至十二月廿日比ロヨリ正月十日チヨンソウ前后迄ヲハンヤ放學ノ定日トス先生十二月廿日過ヨリ郷里ニ歸リ正月十日比ロニ來リテ請ケ持チノ學館ニ入り閉館票ニヒヤウ稽古初ノ日ヲ書テ門ニ張ル生徒是ヲ見テ其日ヨリ上學スヒヤウ毎月朔望ニハツアウラシ早晨ニ生徒學館ニ來リ互ニ揖シ年長ノ生徒後生ヲ從ヘ聖像ノ前ニ至リ焚香禮拜シ先生ニ向ヒ再拜ス先生立テ揖ス稽古始メノ時モ之ニ全シ又學館ノ壁書ヲコト課單ト云之ヲ張リ出シ置キ常ニ生徒ニ見セ若シカキ掟ヲ背キクワシ偷懶ツオウラン作怪ツオクワイナレハキヤク戒方キヤク板イタ竹チヨ片ペン竹チヨ作ニテテ以テタテ打手ウチテ心ココロ又マタ重懲オモシクニハス

打屁股ウチヒツヲ行フナリ

○先生ハノ謝儀ハ生徒ノ身分相應ノ銀ヲ贈ル一定ノ法ナシ年三度ナリ端午中秋銀包ニ切銀ナレハスインヤクワイ星幾塊ト書ク全キ銀ハ元幾塊ト書赤紙ノ封筒ニ入レ上ニ掛テ紙ヲシテ脩儀ト書クハヒヤ拜匣ハヒヤニ入レ使テ以テ贈ル先生謝帖アリ又我家ニ先生ヲ請シ稽古セルニハ謝義ノ數多シ

○大官豪富ノ有志金ヲ出シ先生ヲ請シ祠堂等ヲ借リ學館トシ貧家ノ子弟ヲ教育スル所ヲ義學ト云教授ノ法問學ニ全シ生徒學業進歩シ詩作文章大概熟習スレハ各意ニ良師ヲ求メ經義ヲ討論シ其后ヒヤン郷試トテ一郷中ノ試験ヲ請ケ

其鄉試シヨクナ司シヨクル官シヨクナ主考官ト云是ハ固リ考試ヲ經テ當時輸  
 林院シヨク又ハ詹事科シヨク道六部九卿等ノ人ヲ欽差トスル也鄉試ノ  
 第一場ニハ四書ノ文ヲ題トシ文章三篇五律ノ詩一首ヲ作  
 リ第二場ニハ五經ヲ題トシ經毎ニ文章一篇論一篇第三場  
 ニハ策五道表一道ヲ作ラシム是ヲ鄉試ト云此上追次府縣  
 州等ノ試ニ出テ及第スル也是則孩兒教育法順次ノ大概也

### 冠 婚

○冠禮ノ古式方今其法ナシ只風俗ノ習斷ヲ以テ各隨意ニ  
 之ヲ行フ男子十三四歳ニナレハ恰好ヲ見合セ天德月德ノ

吉日ニ加冠スト云女子モ十歳以上ニテ許嫁スレハ直ニ上  
 笄シヨクス男女共ニ元服ノ節ハ廳堂又ハ房中ニテ剃髮人ヲ呼ビ  
 面盆ニ湯ヲ入レ椅子ニ坐ス剃髮人頭ノ真中ニ髮ヲ殘シ余  
 ハ剃落ス殘セシ髮ヲ木梳ニテスキ竹毘ニテ垢ヲ取り三ツ  
 ニ分チ打立タル是ヲ辮子ト云髮先ヲ紅綠ノ糸ニテ留メ帽  
 子ヲ着ス廿歳余ニナレハ花色黒等ヲ用ユ在宿ニハ睡帽外  
 出ニハ大帽ヲ着ス元服ノ日モ祝賀ト云フナシ  
 ○男子廿歳余ニナレハ婦ヲ娶ラシム媒人シヨク水人トモシヨクヲ頼ミ貨ワ  
 ント思フ處シヨク女ノ方ヘ說親シヨクス女ノ父出迎ヘ先生シヨク勞駕シヨク有何見  
 敬ト云テ互ニ揖シ主人ヨリ請坐ト云ハ氷人有坐ト答ヘテ

椅子ニ掛ル而テ合レ愛ニナ何其ノ子息ノ嫁ニ所望致シ度僕ヲ  
 以テツ作レ代ニセシムト云ハ主人聞テ不才ノ小女ス箕箒ニ備ルニ  
 足ラズト辞退ス媒人押テマウセバ熟談ノ上ト云フモアリ  
 又即坐ニ返答スルモアリ其后チ主人媒人ノ方へ往テ返答  
 スル事モ有父祖無キ者ハ伯叔兄ノ内ヨリ應對スルナリ男  
 女幼小ヨリ聘レ定ススルモアリ又年比ニ成テ親レスルモ有婚  
 ナ結フニ平民ハキ街長ニ届ケル也媒人ハ親類朋友又ハ輕キ  
 者ノ阿レ媽ニ收レ生レ婆ニナド云者之ヲ周旋ス双方允諾ノ上吉日ヲ  
 撰ヒ天德月嫁賞ヒノ書簡ヲ遣ス此時葉茶ヲ錫レ罐ニ入テ十百數  
 ノ不同アリ各身分相應ニ贈ル是ヲ授茶ト云媒或ハ奴僕ヲ

使トス女ノ方ニ至リ有レ人在レ座請レ教ト云取次書簡ト茶ヲ請  
 取リ主人ニ呈ス直ニ返簡ヲ書シ遣スナリ數日過テ吉日ヲ  
 撰ミ送レ盤ス又近レ盒ト云品物ハ端物珠玉細工物筭戒指等ナ  
 リ又上レ筭ト云贈リタル筭ヲ女ニ始テサ、スル也是レト共  
 ニ結婚ノ吉期ヲ通ス之ヲ道日ト云女ノ方故障ナケレハ直  
 ニ用意ヲナス此キ女額髮ヲ切テ包頭ヲ付ケ筭ヲ挿ス送レ盤  
 ヨリ四五日過テ女ノ方ヨリモ贈リ物アリ珠玉織匹ノ類ヲ  
 遣ス是ヲ回帖ト云則返簡ナリ此贈答濟テ婚禮三日前ニ道  
 具ヲ男ノ方へ送ル粧レ奩ト云嫁入ノ荷分ケテ人々ニ持ス人  
 數多ク運フヲ歡レナリ我國ニテモ何荷アリト自負ス人情



○結婚一ニ倣親ノ日ハ媒人男ノ方ニ來リ夕刻ヨリ婿ニ改服サセ同道シ花橋ヲ整へ樂人ヲ連レ女ノ方ヘ往ク婿親迎ニ來レハ岳父ハ廳上ニ案ヲ設ケ婿ノ才ヲ試ソタメ文房四寶紙筆ヲ整へ雲箋ニ詩文章ノ題ヲ出シ置キ書ヲ乞フ一有リ婿ノ轎子嫁ノ門前ニ至レバ女家ノ奴僕婿ヨリ祝儀ヲ得ンカ爲メ門ヲ閉テ明ケス祝銀ヲ遣セハ開キ通スト支那流一極ノ幣風下腹笑スヘシ此日婿ノ方ヨリ女家ニ三度書簡ヲ遣スノ例アリ初ハ迎ノ轎子ヲ遣ト云書二ハ支度アリタシト云書三ハ台台登登ヲ促スト云書拜匣ニ入レ使ニ持セ遣スナリ

○媒人同道婿嫁ノ門前ニ至リ轎子ヨリ下リ進メハ主人出迎へ廳堂ニ案内シ請上坐ト云テ拱揖ス媒人モ今日恭喜ト會釋ス主人ヨリ且請坐ト云ハ媒人拱テ得罪ト云テ椅子ニ坐ス婿ハ始終媒人ノ指揮ニ從フ坐定リ主人自ラ茶ヲ取テ媒人ニ進メ今晩多勞且請拜茶ト云ハ媒人立テ茶碗ヲ受取リ得罪多謝ト云テ椅子ニ坐ス親類等出テ今晩勞駕極く成請阿ト揖スレハ媒人立テ請阿恭喜々々ト拱揖ス又茶出テ、次ニ桂圓湯湯薑豆湯湯杏酪酪鷄豆湯湯ノ類砂糖煮一二種出シ舉テ卓子ヲ持出テ酒瓶出テ媒人ノ酒鍾ニ酒ヲ斟立テ得罪ト挨拶ス主人相伴ノ人々ニモ酒ヲ斟ク其時主人上菜ト云

へハ僕菜ヲ持出テ卓子ニ置ク主人請菜ト云媒人多謝ト云  
 相伴人箸ニテ菜ノ能所ヲ取リテ請々ト進ム媒人請先々々  
 ト云テ辭讓ス各々飲食シテ祝辭ヲ言フ諱避ノ言語アリ酒  
 ニテモ一雙ヲ成雙ト云ヒ収席ヲ成席ト云ノ類都テ單ヲ忌  
 ミ双數ヲ用ユ我力國ノ歸ルナヒ凡支那人ノ物ヲ忌ム我が俗ニ云、ナ  
 ヘイカツギ尤多シ平常ニテモ龜ヲ畫キタルヲ忌ム甚シ是  
 龜忌ノ普通ニ據ルナリ是等ハ我反對ナルモノ也  
 扱テ媒人程ヲ見合セ二度目ノ書簡ヲ出ス支度アリ花娘ニ衣服  
 ナ着替ヘサス又程ヲ見テ媒人三度目ノ書簡ヲ出ス此トキ  
 多蒙盛設深感厚意且請成席ト云酒席ヲ止ム花娘用意整ヒ

内房ノ口ヨリ轎子ニ乗セ昇テ廳堂ニ送り出ス媒人立テ出  
 レハ花娘ノ轎子從テ昇出跡ヨリ女婿モ立テ主翁ニ向ヒ多  
 謝丈人錯愛ト云一坐ノ密ニ向ヒ各位先生少陪ト云テ立出  
 ル人々送ラントスレハ増不敢々々請留歩ト云新郎媒人堂  
 前ニテ主人并ニ親類へ揖シテ下リ門前ニテ轎子ニ乗ル花  
 娘ノ轎子ハ媒人ノ跡ヨリ行列ヲ整へ出ル先祖四品ノ官ニ  
 昇リタル家筋ハ執事等ノ儀仗ヲ用ニ其列ハ  
 紅燈 執事 鼓樂 旺相 紅黑帽 喝道  
 其跡ヨリ新郎ノ轎子行ク婿ノ家一丁程ニモナレハ人ヲ遣  
 シ嫁ノ來ルヲ告知ス

○媒人ノ告知使婿ノ家ニ來レハ其父兄ニシテ主人タルモ  
 ノ門迄出テ媒人ヲ迎ヘ勞駕ト云媒人豈敢ト答フ主人請上  
 坐ト云ハ媒人不敢當ト答フ主人再ヒ請坐々々ト云ハ媒  
 人得罪ト云テ椅子ニ坐ス此ハ主人婿共ニ内ニ入ル新婦ノ  
 轎子來レハ傍娘新婦ヲ下ロシ兩方ヨリ手ヲ引テ媒人ノ次  
 ニ立シム養娘等傍ヲニ侍ス花娘ノ衣服ハ下ニ披風袂衣ト  
 云常ノ衣ヲ着シ上ニ大紅ノ圓領ト云テ着シ頭面覆我カ婦帽ト  
 云紅ノ被ニ似タル物ヲ着ス媒人内ニ入リ新郎ヲ伴ヒ廳堂  
 ニ出來リ花娘ヲ新郎ニ相見セシム此ハ幼年ノ者二人一對  
 ノ燭臺ニ艸花ヲ畫キタル紅蠟燭ヲ立テ新人ノ前ニ置ク是

ヲ花燭ト云新婦新夫ニ向ヒ禮スレハ婿モ答禮ス婿ハ椅子  
 ニ坐ス嫁ハ坐セス新人相見畢リテ父母廳堂ニ來リ椅子ニ  
 坐ス新夫婦並ヒテ天地ヲ拜シ次ニ家廟ヲ拜シ父母ヲ拜ス  
 二人ヲ傍娘養娘等案内シテ房中ニ入ル此際ニテ母ハ内ニ  
 入り父ハ媒人并ニ親類來客ニ請寬ト挨拶シテ内ニ入ル外  
 廳ノ客坐定リテ茶ヲ出シ媒人ニ進メ次ニ客ニ及フ畢リテ  
 桂扇杏酪等ヲ出シ卓子ヲ置キ酒宴ヲ始ム主人出テ媒人  
 ノ盃ヲ取テ酒ヲ斟ム兩手ニ捧ク奉敬一盃種々費心多勞々  
 々ト挨拶シテ其外ノ客ニモ衆位相煩奉陪請寬暢飲ト云テ  
 酒ヲ勸ム扱新婦先ニ房中ニ來リ新郎跡ヨリ來レハ養娘ヨ

リ相公請坐ト云新郎床ノ縁ニ腰ヲ掛ル傍娘新娘ヲ伴ヒ同  
 床ニ坐セシム傍娘合盃盃ヲ持出テニツニ割リテ手ニ持チ  
 了髮等酒瓶ノ酒ヲ斟ク互ニ盃ニ移シ合セテ新人二人ニ一  
 時ニ呑マシム是ヲ合盃ト云畢ツテ始テ花娘ノ頭面覆ヲ取  
 リ圓領ヲ脱セ天青色○紅桔梗ノ如キ色、男子ハ安ニ服セス  
 先祖天子ヨリ玉ワリタル事アレハ平民ニテモ服ス○上着  
 ナ改ム其母并ニ親類ノ婦女皆來リテ談話ス盃事アリ新  
 娘ハ答話セス傍娘養娘答話ス外廳ニハ媒人其外ノ客酒宴  
 酣ナルキ管家紙ニテ張拔タル獅子ヲ持出テ廳堂ノ真中ニ  
 置ク衆客興ニ乗シ争ヒテ獅子ノ手足頭ヲ分取ス増ハ客ニ

陪坐セス天地廟拜スソテ臥房ニ入ル翌朝ノ酒席ニ陪坐ス  
 酒宴翌朝ニ至ル

○二日目ハ樂人ヲ盛ンニシテ晝比ヨリ花娘ヲ廳ノ上坐ニ  
 シ父母親類朋友等盃事アリ音樂舞踏シ夕刻ニ至リ卓子ヲ  
 取り回千、十六ヲ出ス此物出レハ花娘房中ニ入ル夜ニ入  
 テ傍娘ハ花娘ノ衣服ヲ替ヘサセ睡房ニ入ラシム  
 ○三日目ハ花娘早ク起テ父母ヲ拜シ房中ニ入ル婿モ同シ  
 新人ト同卓ニテ朝飯ヲ吃ス此日ヨリ親類朋友都來道喜慶  
 賀ノ贈リ物使來レハ賞封ヲ取ラス又五日程過テ新郎ヨリ  
 請帖ヲ以テ外父母ヲ招請ス是ヲ進門ト云母ハ父ノ名母ハハ  
 此日

ハ酒宴ヲ設ケ親類朋友モ會シテ饗應ス音樂モアリ外父母  
 花娘ノ兄弟姉妹打連レテ婿ノ方へ來ル奴僕門前ニ持受ケ  
 外家來ルヲ報ス主人並婿廳堂ノ口迄出迎ヒ拱シテ敢勞移  
 玉ト云客豈敢々々ト答フ廳ニ登リ堂客スベテ女客ヲ養娘ノ類出  
 テ堂客ニ挨拶ス内廳へ請ス主人ハ外父小舅等ニ揖シ椅子  
 ニ坐セシム新郎ハ下坐ノ方ニ拱手シテ坐ス饗應ハ婿ノ内廳ニ  
トキノ如シ  
 ハ新娘ノ親類ノ妻女姉妹ニモ卓子ヲ出シ饗應ス相伴ハ新  
 郎ノ姉妹兄弟ノ妻女等出テ陪坐ス母出テ外母ニ酒ヲ勸ム  
 酒宴深更ニ及ンテ客ヨリ挨拶スレハ主人程ヲ見テ席ヲ納  
 ム進門濟テ五七日過婿ヲ外家へ招請ス此時嫁モ伴ヒ行ク

是ヲ回門ト云婿外舅ノ門ニ入バ舅父廳堂ニ案内ス婿下坐  
 ニ拱手シテ扣ユ丈人請坐ト云ハ不敢ト答テ坐セス丈人強  
 テ請坐々々我々也要坐ト云ハ婿得罪ト云丈人先主席ニ坐セ  
 ハ婿モ坐ス親戚朋友ナド出テ對面ス婿請坐ト云ハ一同椅  
 子ニ座ス花娘ハ轎子ノ儘内廳ニ至ル養娘ナド付添テ廳ニ  
 入ル内ニハ母姑姉妹ノ類接件シテ新娘ヲ饗應ス父モ折々  
 來リテ酒ヲ勸ム外廳ノ酒宴畢レハ内廳モ收ム婿丈人ニ揖  
 レテ立ツ嫁モ辭シテ外廳口ニテ轎子ニ乘テ門ヲ出ツ是レ  
 婿入りノ式也婚姻ノ后チ一月程過テ花娘親里へ歸省スル  
 一ナリ此キ人事トテ贈物アリ卅日程逗留シ迎來リテ歸ル

丈父ヨリ贈リ物アリ是レ我が國ノ里披キ彼カ往古ノ父母  
 ニ歸寧スト云也又舅ノ方ヨリ娘ニ逢度キハ使ヲ以テ言ヒ  
 遣セハ嫁ヨリ公姑ニ乞ヒ夫ニ乞ヒ日限ヲ定メテ返答ス其  
 日ニ成レハ公姑丈夫ニ告テ行ク是等ノ數点婚禮ノ式也然  
 レモ是ハ上戸大家ノ禮式ニテ中己下小戸ニ至ツテハ是ト  
 均シカラズ

家屋

○家屋ハ貧富ニ仍テ製作廣狹均シカラズ上戸平民ノ家宅  
 ト云ヘハ外面ハ各々泥牆板牆正面ニ大門ヲ設ケ二三間程

内ニ儀門ヲ建テ其内ニ玄關向ノ如ク廣キ一間ヲ作り來客  
 ノ此間ニテ應對ス是ヲ廳堂ト云外廳又公堂モ云而側ニ  
 空地ヲ設ケ樹木ヲ植置ク一方ニ書房ヲ作ルモアリ少シ與  
 ノ方ニ廳堂ヲ建ツ内廳ト云大戸ハ二棟立テ川廳内廳ト云  
 フ又書房内房ハ別ニ建ルモアリ其奥脇ニ厨下アリ柱ハ圓  
 方均シカラズ廳堂ハ多ク圓柱ヲ用ユ柱下礎石ヲ置ク方圓  
 六角等好ニ應ス壁ハ磚ヲ以テ土ニテ築上ル厚サ凡一尺程  
 ナリ上ハ白又ハ黃赤等好ニ任セ上塗ス土色定式ナシ屋  
 中都テ床ヲ張ツズ龜甲形ノ瓦ヲ敷ク是ヲ鋪板ト云又厚キ  
 板ニテ瓦ノ代リニナスモアリ内房厨下等ハ床ヲ張リ板ノ

間トス又土間モアリ通行ノ路次ハ何レモ土間或ハ平石チ敷ク是ヲ甬道ト云表牆ノ高サ六七尺ヨリ一丈程迄ナリ大門高サ七八尺ヨリ一丈ニ致ル幅是ニ稱フ瓦家根二枚扉左右ハ開ク柱方圓礎石等ノ好ミ心ニ任ス扉ニ神茶壺ノ神像チ張り門上ニ額チ掛ケ柱ニ聯チ紅唐紙ニ書テ張ル又官家大家等ハ大門ノ兩側へ小門チ設ケ是レヲ角門ト云夜分ハ大門チ閉テ角門ヨリ出入ス角門チキハ扉チ片開キニシテ出入ス大門ノ内少シ間有テ又扉チ設ク是チ屏門ト云常ハ閉テ内チ見透カサヌウニス貴人高位ノ來臨ニ是ヨリ出入セシム大門ノ内側ニ耳房チ置ク門番ノ居處ナリ

文句定式ナシ

是チ置ハ官家大家ニ限ルナリ儀門ハ官家ニ限ル大門ヨリ二三間奥ニ建ツ造法凡大門ニ同シ常ニ扉チ閉テ出入スルナシ平民ハ儀門チ建ルナシ許サス故ニ屏門チ設ク扉ニ聯チ張ル祖先官員タリシ家ハ平民ニテモ儀門チ立ツ  
 ○廳堂大小アリ儀門ノ内ニ建ツ入口扉二枚又ハ四枚間口ノ大小ニテ不同アリ下ニ輒チ敷ク左右壁堂ノ正面ニ床ノ如キ所アリ脚ノ高キ卓子チ置書畫ノ掛物チカケ上ニ額チ打ツ兩方へ聯チ掛ケ卓上ニ香爐花瓶チ置ク兩側へ洋木紫檀紫竹等ノ椅子チ居へ來客ノ坐トス正面ノ兩脇三尺ッ、明ケテ扉チ設ケ勝手ヨリ出入口トス内廳ハ公堂ヨリ奥ニ

建ツ造法公堂ニ同シ左右又ハ向フノ地面ニヨリ空地ヲ取  
 テ樹木ヲ植エ又ハ鉢植ノ草花ヲ並ヘ向ヘ籬いぢ等ヲ作り清  
 淨ニスルナリ來客ノ酒宴多クハ内廳ニテ設ク書房ハ公堂  
 後キニ建ルモアリ別ニ建ルモアリ入口ニ枚扉正面ニ書齋  
 ナ掛ケ卓上ニ文房四寶紙硯ヲ列キ擺式ハビ所謂水盂スイイ筆筒ビツン筆架ビキヤ墨  
 床圖書印色香盒ヒキヤヲ并ヘ椅子ヲ居ヘ壁ニ樂器帽架等ヲカケ  
 好ニ依リ古雅ノ品物モ飾リ置ク又女ノ居間ヲ内房ト云奥  
 ニ設ケ入口ニ布簾フレンヲ掛ケ二枚扉夜ハ内ヨリ關鎖カクシス内ノ隅  
 手ニ睡床スイイヲ置キ其側ニ衣箱イソコ金銀箱キンギン手道具等ヲ入ル一間ア  
 リ口ハ扉ヲ付ケ關鎖ス又片脇ニ卓ヲ置ク女ノ手道具針箱ハネコ

鏡臺キョウダイヲ并ヘ椅子ヲ居ヘ壁ニ相架ウキヤ或ハ三絃琵琶等ヲ掛ケ置  
 クアリ便所通ヒ口ニハ麻鞋マシヲ置ク面盆オモヲ置キ手巾テウキヲ掛ケ  
 置内房ノ上ニ樓ヒキヲ設ケ女子ノ寢所トス樓上ニ上下スルニ  
 ハ板ヲ以テ胡梯コトヲ拵ヘ樓上殘ヲス板敷ニシ入口ニ枚扉板  
 敷ニ藤蓆毛氈等ヲ敷ク卓子机子等ヲ居置窓ハ方圓等シカ  
 ラス左右開キノ扉カ障門サヤニスル欄干ランカンヲモ設ルナリ此内房  
 樓ハ露臺ロウダイヲ設ケス女子ノ住居寢所ナレハ窓モ小サクシ常  
 ニ簾ヲ掛ケ外見ヲ避ク又書房ノ樓ハ先ヘ露臺ロウダイヲ設ケ地ヨ  
 リ柱ヲ建テ樓ニ付テ竹板ニテ床ノ如クシ三方ニ欄干ヲ付  
 ケ上ニハ架子キヤウジヲ造リテ幔マンヲ張り日覆ヒフクトス夏日ノ納涼所ト



ナス

○南方蘇杭等ノ市街ハ皆樓房ナリ凡我が國ノ住居ト同シ  
 隔漏漏斗ハ板竹銅等分限ニヨリテ均シカラス村落田舎ハ  
 樓房少ク平屋多シ家屋ノ障子ハ紗又ハ縮緬油引ノ紙等ニ  
 テ張ル窓ハ明瓦雲母玻璃等ヲ用ユ襖ヲ用イズ仕切ハ何レ  
 モ板扉或ハ紗障ナリ扉ノ上ランマ等ヲ天花板ト云仰塵紙  
 ニテ張り草花ノ繪ナドヲ書或ハ合天井ニス大家官家ニハ  
 仰塵ヲ用ヒス小戸却テ間々コレヲ用ユ  
 ○夜ハ行燈ヲ用ヒス紗燈半角燈ヲ用イ書房ナドハ書燈掛  
 燈臺ヲ用ユ燈臺ハ點錫黃銅等ニテ造リ茶油麻油等ヲ用ヒ

魚油ヲ用イス方今ハ石油ヲソブチモ取交ゼ用ユ我カ國ト

凡變ルヲナシ

○睡床ハ木ニテ六七尺四方八九尺一丈ニモス柱四本或ハ  
 六本高サ六尺程ニシ取崩スニウニ拵ヘ床ニ箆ト云物ヲ敷  
 キ上ニダソツウ毛氈等ヲ敷キ其上ニ蒲團ヲ敷ク冬ハ暖ナ  
 ル處ヘ居ヘ夏ハ涼シキ所ヘ移ス家毎ニ人數ノ外ニ二組三  
 組ハ貯ヘ置宿客ノ用意ナリ天井ハ板モアリ又木竹ヲ二三  
 本渡シ布ヲ張リタルモアリ四方ハ蚊帳ヲ掛ケ一方ヲ開テ  
 鈎ニ掛ケ出入ス蚊帳ハ四季共ニ用ユ浴室毛坑ハ家ノ裏手  
 ニ建テ内房ヨリ廊下通リニシタルアリ又別ニ建テタルモ

アリ入口扉ヲ設ク浴室ハ下ニ石ヲ敷キ四方壁入口アリ  
 坑モ同シ地ニ鑿又ハ桶ヲ埋メ板ヲ以テ床ヲ張リタルモア  
 リ女ハ馬桶ヲ用ユ内房ノ隅手少シ隔テ板ニテ圍ヒ内ニ馬  
 桶ヲ置テ使用ス夜分ハ睡床ノ側ラニ寄セ置クナリ  
 ○厨下ハ土間或ハ板敷ニシテ竈ヲ設ケ壁付キニハ膳棚諸  
 道具食器類ヲ置キ甕ノ側ラハ水甕水桶手桶等ヲ置キ厨房  
 ニ樓ヲ設ケ奴婢ノ睡房トス又ハ下ヘ耳房ヲ設ケ置モアリ  
 夫婦ノ奴婢ハ同居ス然ラザレハ奴ハ外房ニ居婢ハ厨樓ニ  
 居ス奴婢ハ朝早ク起テ發燭兒火刀火石ヲ以テ煮炊ノ支度  
 ス

○商家鋪面ノ製作街道ヲ店トシ住居ハ内ノ方トス店ハ棚  
 ナ設ケ物件ヲ置キ側ニ天平ヲ設ケ銀櫃ヲ置主管其前ニ坐  
 シテ銀錢ヲ收メ記帳シ商法ノ指揮ヲナス小店ハ主人店頭  
 ニ坐シ天坪銀櫃ヲ置スシテ商賣ス商家ニテモ廳堂内房等  
 造作異ナルト無シ  
 ○農家ハ皆草葺ニシテ表泥牆板牆ニシテ門有モ無キモア  
 リ小家ハ居屋ハカリナリ大家ハ廳堂書房内房等ノ設ケ異  
 ナルト無シ何レモ瓦屋根ニシテ前後ノ空地ヘ收納小屋ヲ  
 草屋根ニ建テ是ヲ打麥場ト云米庫雜庫等アリ庫藏ハ二間  
 三間四方大小不同アリ瓦葺ニシテ四方板石ヲ以テ壁ヲ築

上（建武作）内外白灰土ニテ塗り一方へ出入口ヲ設ケ内ハ板扉  
外ハ土扉（土扉）ニス二階建ハ柱ヲ用ヒ平建ハ柱ヲ用イズ屋根ノ  
所へ梁斗（斗）リヲ渡シ瓦葺ニス土間ハ敷瓦ナリ

衣 食

○衣服ノ製ハ方今渡來ノ支那人ヲ見テ明ラカナル故ニ畧  
シテ記セス官服其位階ニ就テ色形ヲ異ニス平民ノ衣服名  
稱ハ

- 袍子（袍子）
- 短衫（短衫） 服（服） 上半
- 被風服（被風服） 上半
- 裙子（裙子） 富（富）
- 圓領（圓領） 女（女） 掛（掛） 袴（袴）
- 女袍（女袍）
- 外套（外套）
- 馬褂（馬褂） 上半（上半） ナ（ナ）
- 背身（背身） 袖無（袖無） キ（キ）
- 大衫（大衫）

浴衣（浴衣） 共（共） 男女

凡此類ニテ別ニ記スルヲナシ

○食ハ我ト同ク貴賤米（米）ヲ以テ定食トス飯ニ製スルハ煮焚  
ノ法我ト變ル（變ル）ヲナシ茶（茶）又我ト同シ紅綠取交セ用ニ各好ミ  
ニ仍ル品物上中下ノ差別アリ貯ルニハ錫罐（錫罐）磁壺（磁壺）等ニ入レ  
置ク也

○酒（酒）ハ米麴水ヲ以テ桶ニ仕込作ル諸州ヨリ出ル上下ノ差  
別アリ名酒ト稱スルモノ

- 惠泉酒（惠泉酒） 淡味（淡味） ナリ 常州
- 烏程酒（烏程酒） 湖州
- 福珍酒（福珍酒） 蘇州（蘇州） 出（出） ヲ
- 紹興酒（紹興酒） 紹興（紹興） ヲ 出（出） ヲ
- 潞安酒（潞安酒） 山西（山西） ノ出
- 汾酒（汾酒） 山西（山西） ノ出

酒ハ壺ニ入レ斤目ニテ賣買ス下賊ノ端買ハ自分ニ酒瓶ヲ  
持行買フナリ

○酢ハ米一斗一夜水ニ浸シ蒸籠ニテ蒸シ冷シテ壺類ニ入  
レ三日程過テ清水三十斤程入柳枝ヲ以テ七日間カキマセ  
后チハ其儘ニシテ一月置キ布袋ニテ絞リ粕ヲ去リ山叔黄  
栢ヲ粉ヲ少シ加ヘ煮返シテ用ユ

○醬油 製作法大豆ヲ煮テ其儘釜ニ一夜入置翌日中へ麥  
ノ粉ヲ交セ延ニ廣ケ風ノ當ラサル處ニ二三日チセ置キ黄  
花付タル日ニ干シ壺ニ入レ煮鹽ヲ入レ搗キ交セ半月余  
ヲ過テ一扁煮返シ布袋ニ入レ絞リ用ユ豆糲一斤ニ水七斤

搥四十目ノ配當ナリ又漬物醬油トテ漬物ニカケ或ハ中へ  
大根瓜茄子菜等ヲ漬ケ用ユ我カ、モロミ漬ト同シ

○麴白米ヲ淘淨シテ蒸籠ニテムシ延ニ廣ケ上ニ茅ヲ覆ヒ  
火室ニ入レ子ヤス夏ハ四五日冬ハ十日程置黄花付キタル  
出シ用ユ又頭鼓納豆也頭字大豆ヲ蒸シ麥ヲ炒磨子ニテヒキ  
粉ニシ蒸豆ト同一ニ搗キ交セ延ニ廣ケ花ノ付タルト煮搥

チ交セ桶ニ入レ五六十日經テ生姜チ切り漬ケ込用水ハ少  
クシテ極堅ク作ルナリ  
○漬ケ物大根瓜等前ニ書シタルモロミ漬ケノ外ニ香蘿蔔  
漬是ハ大根ヲサイノミニ切り一夜搥シテヨクホシ乾シ生

姜橘皮キョウキヒ薄荷ハコウ蘿蔔ロウボウ茴香クワイキヤンヲ少シ交セ壺ニ入レ酢ソウヲ炭ツツテ掛ケ炎天ニ  
 乾シ用ユ又香瓜ヒヤクワ菜瓜サイカヲ薄ク切一夜蒸シテ其汁ヲ煮返シ右  
 ノ瓜ニカケヨク乾シ糸切ノ生薑シヤンキョウ紫蘇シヤク薄荷ハコウ蘿蔔ロウボウ茴香クワイキヤンヲ加ヘ交セ  
 合セ壺ニ入レ煮酢ヲカケ砂糖ヲ少シ加ヘ炎天ニ乾シ用ユ  
 ○來客ニ用ユル食物類大概ヲ記ス  
 湯ノ類 桂圓湯クワイエンハ龍眼肉ト氷砂糖ヲ交セ煮タル物砂糖湯  
 也杏酪イシロハ杏仁シシヲ砂糖ニ和シタル湯ナリ鷄豆湯キトウ失實ウシノミヲ糖ト  
 和シタル湯ナリ炭ハ水草扁豆湯ヒントウハ豆ト砂糖ヲ和シタル湯  
 ○菓子ノ類 雪粉糕セツコ一名雪粉團セツコ又百菓糕ヒャクカト云ハ糯米イヌメ粳米キヌメ  
 ノ粉ヲ等分ニシテ水ヲ少シ振り交セ蒸籠セウロウヘ入レ厚サ二三

分ニシテ蒸シ上ケタルヲ折敷セシヨウノ物ニ移シ置キ少シ冷  
 タル比上ニ白砂糖ヲ一面ニ振リカケ其外ニ紅糸ホンシハ梨子ライジヲ  
 薄ク切り生圓子ニテ染メ砂糖ニ漬ケ細ク切タルナリ瓜子カウジ  
 ハ西瓜ノ核ナリ橙子セイジハ青キ内ニトリ皮ヲ薄クヘギ砂糖ニ  
 漬ケタルナリ右三品少シツハ上ニ置キ一寸四五分ノ角ニ  
 切り用ユ

○餃子ギョウジハ麥粉マクコヲ水ユテ堅ク練リ棒ニテ薄クノベ三寸程ツ  
 ヲニ丸ク切り豚肉ブタニクヲ糸作りニシテ椎茸シメジ葱ネギヲ細ク切マゼ右  
 ノ皮ニ包ミ蒸シテ用ユ  
 ○紅粉糖ベニコハ糯米イヌメ三分ミ粳米キヌメ七分シチブ白シロニテ搗ツキ粉ニシテ湯ニテ生

圓子ヲトキ其汁ニテ米ノ粉ヲヨク搗拌蒸シテ餡餅ノ如ク  
 シテ内ニ小豆餡ヲ入レ中皿ニ入レ皿共ニ蒸シテ出ス餡ハ  
 小豆一升ニ砂糖三斤ヲ入ル

○袋衣餅一名太史餅ハ麥粉ヲ菜油ト水等分ニシテコチ白  
 砂糖ヲ加ヘ棒ニテ延ヘ又丸ク堅メテ餅ノ如ク手ニテ少シ  
 押シ平メ油ニテ黄ニナル迄揚ケ白砂糖ヲ振りカケ用ニ  
 ○藕粉糕ハ藕粉ヲ水ニテ解砂糖ヲ入火ニ掛テ煉リ又同粉  
 ナ少シ加ヘ皮トシ小豆餡ヲ入レ用ニ我カ葛饅頭ニ似タリ  
 ○肉饅頭ハ我カ饅頭ノ製ニ似タリ但シ餡ハ豚肉ト葱ヲ細  
 カニ切砂糖ヲ和シテ用ニルナリ

○糖糕ハ糯粳等分粉ニシテ搗蒸シ砂糖ヲ入レ搗交セ薄ク  
 延ヘ一寸四五分角ニ切り油ニテ揚ケ用ニ  
 ○扁豆糕ハ白扁豆ヲ表皮ヲ去リ水ニテスリ潰シ袋ニ入レ  
 絞リ麥粉少シ砂糖ヲ加ヘ交セ合セ蒸シ冷シ寸四五分四方  
 ニ切り二ツ宛合セ其間ニ又砂糖ヲ入レ用ニ右等菓子ノ大  
 概ナリ

○菜類 酒飯ノ熊掌ヨク毛ヲ去リ湯ニテ煮其汁ヲ去リ酒醬油  
 ニテ能ク煮熱シ小蝦ヲ炙リ取合セ用ニ是支那人往古ヨリ  
 美味ノ第一トシテ稱味スルモノナリ  
 ○鹿尾ハ鹿ノ尾付ノ所ノ肉ヲ湯ニテ半熟ニ煮テ湯ヲ去リ

酒醬油ニテ煮熟シ小蝦ヲ炙リテ上ニ置ヒ韭ヲキザミテ振掛ル

○羊羔ハ羊ノ肉チ一塊二斤程ニシテ水ニテ能ク煮熟シ汁ヲ去リ肉ヲ洗ヒ羅ハ生ス姜キ葱ニ加ヘ酒醬油ニテ能ク煮込ミ骨ヲ取リ冷シ薄ク切り用ユ酒七分醬油三分ノ配當ナリ是モ支那人賞美ノ菜ナリ我カ國ノ羊羹モ是ニヨリ製シタルモノナリ

○豚蹄一ニ東坡肉ト云ハ股付ノ肉チ五寸角程ニ切能々湯煮チシテ酒醬油白砂糖茴香ヲ少シ加ヘ皮付ノ肉色赤ク成ル迄煮込ル木耳山藥葱ヲ入レ煮テ用ユ

○野雞ハ雉子ノ皮ヲ去テ腹付ノ肉斗薄ク切鍋ニ油ヲ引キ炒和ラケ酒醬油葛粉ヲ加ヘ汁ケナキヨウニ炒リ用ユ酒八醬油二ノ配法ナリ

○鱖魚ハ酒娘ニテ蒸シ鹽ヲ加ヘ用ユ  
○炒雞ハ雞ヲ骨ト共一寸程ツ、ニ切鍋ニ油ヲ引キ炒又水ヲ少シ入半熟ニナリタルハ酒醬油豚ノ油少シヲ入栗山藥

蒜ヲ加ヘ煮熟シ汁ケノ無キヨウニ煮ル  
○全鴨ハアヒルノ羽付ヲ去リ皮ノ損セヌヤウニ能ク毛ヲ去リ腹ヲ洗ヒ糯米蓮肉ヲ腹ニ詰メ藜ニテ卷キ湯ニテ七分ニ煮和ラケ汁ヲ去リ火腿ノ羹汁ニ酒醬油ヲ加ヘ鹽加減セ

能々煮熟シ蕪ヲ捨テ全体ノ崩レヌヨウニシテ木耳 金針菜

葱等ヲ加ヘ煮汁酒十分醬油一分ヲ入レ用ユ  
○鷄ハ肉ヲ骨共切湯ニテ煮和ヲケ酒醬油ニテ煮熟シテ用ユ

○蟹羹ハ煮テ殼ヲ去ル肉ヲ鶏ノ煮汁ニ酒醬油ヲ入レ葛少  
シ加ヘ葱生姜ヲ細クキサミ入レ酒醬油ニテ煮熟シ用ユ

○煙乾ハ煙ヲ水ニ浸シ砂ヲ去リ洗ヒ猪肉ヲ薄ク切油ニテ  
共ニ炒葱ヲ少シ加ヘ酒醬油ニテ煮熟シ用ユ

○魚肚魚ノ腹ヲ皮ヲ湯ニテ煮和ヲケ鮮肉 火腿ノ煮汁ニ酒  
醬油ヲ加ヘ煮熟シ椎茸乾笋 木茸等ヲ加ヘ用ユ都テ煮物ハ

酒勝醬油少ニシテ何レモ淡鹽味ナリ故ニ小皿ニ醬油ヲ附  
ケ出シ淡鹹ハ吃スル人ノ好ミニ任セ鹹ヲ好ム人ハ醬油ヲ  
付ケ食フ也

○湯ノ類我カ吸物菓子椀太平ノ類也  
○燕窩湯一名大菜エンスナ一夜水ニ浸シ湯ニテ能洗ヒ毛

座ヲ取り細クサキ湯ニ浸シ置鶏ノ煮汁ニ鹽酒ヲ加ヘ淡鹽  
ニシテ鶏肉火腿干ナリ又鮮肉スエシヤヲ糸切りニシテ煮熟シ碗へ盛

リ其上ヘエンスナ入レ葱ヲキサミ少シ入レ煮汁七分酒三  
分ヲ配シ鹽少シ入ル

○魚翅湯ハ鱸ノ鱗ヲ水ニ浸シ燕窩同ヨウニシテ鶏ヲ細カ



ク角切ニシ鍋ニ油ヲザツト炒リ醬油酒水ヲ入レ加減シ文  
火ニテ煮熱シ椎茸葱ヲ入レ煮ル

○海參湯 ハ海參ヲ堅四ツ切リコシテ煮熱シ火腿ノ煮汁ニ  
酒醬油ヲ加ヘ鹽梅シ魚圓椎茸葱ヲ入レ煮ル也

○賓客ノ等級ニヨリ響應スル酒菜ノ高下碗數

中等十碗又八碗ニ零スル時ハ羊肉魚翅湯ヲ減ス

燕窩湯 全鴨 魚翅湯 豚蹄 鹿筋湯 海參湯

羊肉 鮑魚 (鮑ト豚肉韭トヲ煮タル物) 鮑魚 (鮑ト椎茸肉圓韭トヲ合セ煮タル物ヲ云)

炒雞 (鶏ト炒魚トヲ煮タル物)

醒酒湯 (鶏ニ振り葱ヲシテ煮タル物)

上等回千 (撒羹盤ト云テ一品ツ、鉢ニ盛テ出ス)

荔枝 竜眼 松子 榛子 橘餅 胡桃

菓子 雪梨 杏仁 雲片糕 落花生 瓜子

梅子 柿餅 明姜 太史餅 芝麻扁 蓮環

冰糖 火腿 蛋 眉公餅 冬瓜糖 枇杷根

夾砂糖 桂花糕 佛手柑 玫瑰糖 風雨梅 山查糕

外ニ造花五種大根ニテ菊牡丹水仙等時新花其外時新  
ノ菓實有合セテ用ニ

○茶 桂圓湯 扁豆湯 上

○賓客饗品排出次

卓子 <small>チヨツ子</small>	熊掌 <small>クマノシ</small>	鹿尾 <small>カノシ</small>	燕窩湯 <small>エンワトウ</small>	魚翅湯 <small>イシトウ</small>
海參湯 <small>カイサントウ</small>	羊羹 <small>ヨウキョウ</small>	猪蹄 <small>ブタノシ</small>	野雞 <small>ノノ</small>	鯛魚 <small>タイイ</small>
鹿筋湯 <small>カノシトウ</small>	雪粉糕 <small>ユキコノカウ</small>	餃子 <small>ギョウジ</small>	紅粉糕 <small>ベニコノカウ</small>	蓑衣餅 <small>サヤヒシ</small>
醒酒湯 <small>セイシュトウ</small>	茶碗 <small>チヤワン</small>	炒雞 <small>チヤウキ</small>	全鴨 <small>センヤク</small>	鷄 <small>トリ</small>
蟹羹 <small>ヘイケン</small>	煙乾 <small>エンカン</small>	魚肚 <small>イサノハラ</small>	四點心 <small>シテウシン</small>	藕粉糕 <small>クノコノカウ</small>
肉饅頭 <small>ニクマンテウ</small>	糖糕 <small>ドウカウ</small>	扁豆糕 <small>ヒナマメカウ</small>	口取 <small>クチトル</small>	藕粉糕 <small>クノコノカウ</small>

○茶 ○飯

右畢ツテ卓子ヲ引キ回ホイツエン千ヲ出ス也八碗菜十碗菜ノ時モ菜數四五碗ノ後チ點心テウシンヲ出シ醒酒湯セイシュトウヲ出シ又菜ヲ出ス也

○毎日平食ノ菜數ハ鮮肉雞魚類有合ノ野菜等取交養テ用ユ朝ハ粥ニテ菜漬物ニテ肉類ハ晝晚ニ用ユ又村落ノ小戸ハ米飯ニ品々交合セ食フ麥飯ト云ハ麥粉ヲ飯ヲ焚テ水ノ乾キ切ラヌ内ニ其中ヘ加ヘ入レル丸麥ハ用ヒス、カテハ大豆小豆粟黍等時ニ應シ交セ食ス市中ノ者モ貧者ハ用ユルナリ

○月餅グヱツヒン製法第一第一餡熟麵あんじやくしたるむぎのこ○麥ノ粉ヲ蒸シ乾シ一斤五合菜油半斤白砂糖三斤右三品交セ合セ橙丁紅子瓜子核桃茴香五味一ツニ交セ型ニ入レ堅メ打出ス 第二酥スウ生麵マコノナ一斤八合余菜油

三合白砂糖半斤温湯ヲ入テ煉ル○二ノ酥ノ丸ヲ棒ニテ延  
 へ敷八十ニ切方一寸程ニシテ○三ノ皮ヲ前ノ如ク如減シ  
 タルヲ丸長ニ棒ノ如クナシ敷八十ニチギリ平メニ押テ其  
 上ニ酥チ一ツ宛重子棒ニテ延レハ右ノ粉棒ニ纏ヒツクテ  
 棒ヲ抜キテ其儘小口ヨリ延レハ酥ト皮ト重ナル是ヲ丸ク  
 延へ其内ニ餡ヲ包ミ饅頭ノ如クシテ上ニ生圓子ノ汁ニテ  
 印ヲ押シ平メコシテ角ニ切タル紙ヲ敷キ菓子鍋ニ入レ上  
 下ニ火ヲ置テ焼ケ  
 ○雪片糕製○糯米ノシラゲタルヲ洗ヒ二三日水ニ漬ケ揚  
 ケテ日ニ乾シ炒リテ粉トス二百目熟麵蒸シタル麥ノ粉百

廿目白砂糖百六十目油少シ入レ水モ少シ入レ堅キノリノ  
 如減ニ煉置右三品交セ合セ錫ノ型ニ入レ押シ堅メ上ニ厚  
 キ紙ヲ覆ヒ型ノマ、鍋ニ入レ煮ル其粉ニ湯氣ノ通リタル  
 ナ度トシ揚ルナリ鍋ニ入ル、ニ粉ノ高サ丈ケニ水ヲ入ル  
 水少ナケレハ粉蒸レ熟セス水多ケレハ粉タハル、ナリ文  
 火ニテソロソト煮ル也鍋蓋ハ箒ヲ拵テ覆フナリ熟シタ  
 ル時型ノ内ニテ三ツニ切リテ取出シ薄ク切用ニ  
 ○連環法 糯米粉一斤麥八匁白砂糖廿目膠飴少シ水少々  
 入レ餅ニナル位ニチリ二寸四五分ノ餅トナシ湯表置キ別  
 ニ糯米粉五斤麥粉四十目白砂糖百目膠飴少々入レ一緒ニ

搗交セ糯米粉ヲ打粉ニシテ廣ク延ヘ紐ノ如ク切リ丸メ延  
シ〇ノ如ク輪違ヒニ拵ヘ油ニテ揚ケ冷メテ砂糖ヲ振掛ケ  
用ユ

〇火腿製法 一名臘乾寒中ニ製スル故臘乾ト云〇寒中ニ  
豚ノ股ヲ足付ナカタ一腿ツ、切トリ能ク洗ヒ毛ヲ取り暫  
クサラシ乾シ凡肉一斤ニ鹽廿日程ノ積リヲ以テ能クスリ  
入レ日ニ乾シ風ノ當ル所ニ十日程ツルシ置キ又鹽湯ヲ冷  
シ其内ニ浸シ日ニ干ス一四五度ニシテ曝乾シツルシ置ク  
ナリ〇肉類ヲ早ク和テカニ煮ルニハ肉豆冠ヲ二ツ三ツ程  
入レ煮レハ和カニナル也文火ニテ煮タル方美味ナリ

請 客

〇請客ハ前以テ幾日ニ鹿酒ヲ進シ度旨案内帖ヲ使テ以テ  
申入レ參ルヘキ旨返答アレハ相伴ノ人々ヘモ同ク帖ヲ遣  
シ當日廳堂并門前迄モ掃除シ酒宴ノ用意ヲナス  
〇請帖ハ紅唐紙ハ楷書ニ書キ白唐紙ノ袋ニ入レ使テ以テ  
遣ス相伴ノ人々ヘ何日ニ何人ヲ請ス來リ倍スルヲ煩ト申  
シ送ルナリ客方ヨリ故障アル時ハ謝帖ヲ以テ斷ルトカ延  
引トカチ申越スナリ賓客ヨリ當日土産物ナシ兩三日前ニ  
贈リ來ルヲアリ壽筵ニハ壽麵壽桃ナド又湯餅會滿月會等

ニハ豚肉雞蛋小兒ハノ贈リ物ハ花帽子胸當或ハ時候ノ菓  
物等ナリ

○廳堂カザリ付ケ正面ニ掛物蜂猴圖封候トノ普通ナ祝  
詩文章等ナリ左右ニ聯ヲ掛ケ前ニ高卓ヲ居ヘ卓卓ナ掛ケ  
上ニ香爐ヲ置キ香ヲ焚錫ノ燭臺一對ニ紅燭ヲ立テ花瓶一  
對ニ時新ノ草花色々交テ生ケ置客ニヨリ香爐燭臺ヲ畧シ  
花バカリノ井モアリ卓卓ハ紅緞子羅紗ニテ金糸ニテ麒麟  
兩龍蝙蝠等ノ縫箔アルヲ用ユ廳堂ノ四面上上ニ紅縮緬ニ  
テ水引ヲ張リ一間二間狭ニ結結下ハ敷瓦ノ上ヘ殘ラ  
ス毛氈ヲ敷ク冬向寒冷ノ比ハ廳堂ヲ用ヒズ暖閣トテ下ハ

板敷四方風ノ漏レヌヤウニ致シタル堂ニ毛氈ヲ敷ク正面  
卓ノ前ニ椅子ヲ置キ上ニ坐褥坐褥ヲ人數ニ應シ敷キ設ケ正面  
ヲ上客ノ坐トシ兩側ハ接伴人ノ坐トス上ニハ諸所ニ紅燈紅燈  
紗燈紗燈羊角燈羊角燈羅糸燈羅糸燈ナドヲ釣リ軒先ニモ掛ケル座褥ハ緞子  
天鵝絨ナリ夏坐褥ハ佳紋佳紋席席香牛皮香牛皮ニテ作シリ紅燈紅燈紅縮緬紅縮緬ニテ張  
紗燈紗燈ニテ張羊角燈羊角燈クシテ張リタルモノ如羅糸燈羅糸燈ハ硝子硝子ノ小玉小玉ヲナギ取  
籠何レモ形ハ四角六角丸等ナリ

○座席ハ正面ヲ上トシ右ヲ次トシ左ヲ三トス正面客無キ  
キハ右ヲ上トシ左ヲ次トス正面眞向ノ下坐ノ方ニ屏風或  
ハ挿屏挿屏ヲ立前ニ卓子ヲ置キ花瓶ニ花ヲ挿ム又廳堂ノ側ヲ

書房ツラシキ小閣コカクニハ正面ニ書畫ノ軸物ウツクヲカケ卓子タコニ文具書畫ノ  
 卷物書籍珠玉ノ細工物等ナリ又婦人モ共ニ招ク時ハ内廳ウチノエ  
 ニ席ヲ設ケ飾リ付ノ品々外廳ニ同シ勝手向ハ料理ノ用意セウイ  
 ナナス一定ノ献立アリ六碗八碗十碗十二碗ナリ飲食物ノ  
 製法衣食ノ部ニ詳カナリ

○高貴ノ客ヲ請スル節ハ一卓ニ一客別卓ニ接伴人主人ハ  
 下坐ニ就ク卓子ニ羅紗等ノ敷物ヲ用ヒ其上へ料理ヲ排列  
 スヤウブツ ツイウチヨシ牙筋酒鍾コウ磁碟チ調羹テウキョウヲ飾リ箸シヨハ一ゼンツ、紙ニ包ミ楊枝  
 ナ一本ツ、添ル箸紙ニハ福壽等ノ文字ヲ書ク中己下ノ客  
 ハ二三人同卓都テ右ニ准シ畧式ヲ用ユ見斗ヒ也

○貴賤共食器ハ何レモ陶器ナリ食法ハ先ツ箸ヲ取り鉢ノ  
 煮物肉類ヲ吃シ畢リテ箸ヲ収メ七ヲ取り汁ヲ吸フ汁ノ後  
 ナ肉ヲ喰フヲナシ初メニ汁ヲ吸フヲ無禮トス料理段々出  
 ル一碗毎ニ前菜ヲ引ク其内容ノ吃スル事少キ菜ハ殘シ置  
 然レモ後菜ノ出タルニ殘シタル菜ヲ食フハ失禮トス出物デモノ  
 揃ヒタルキ相伴人ヨリ上客ニ向ヒ請々ト挨拶ス客モ請々  
 ト云テ吃ス又相伴同卓ナレハ煮物出タルキ我箸ヲ以テ能  
 所ヲ撰ミ上ケ客へ請々ト云客是ヲ吃ス寒冷ノ節ハ厨下ヨ  
 リ持出ル間冷ヌ爲ニ器物ニ蓋ヲナシ持出テ蓋ヲトリ去ル  
 ○當日宜キ時刻ニ使テ以テ好時ハツオク候請過來ト云遣ス客來ル

主人服ヲ改メ帽子ヲ着シ門外迄出迎フ中已下ハ廳堂口迄  
 出テ主客一揖揖ハ両手ヲ組ミ、腰ヲカカメルシテ主人云今日屈駕不勝感激客云  
 今日相坐不必多煩今日ハ相坐ニシテ、多ク煩ハズト互ニ挨拶シテ主人手ヲ拱シ拱ハ手ヲ組タルマ  
 且請廳上坐ト云テ先ニ立案内ス主人下坐ニ居テ請上首坐ツエーツインテシヤンソイ  
 ト云客不敢ト再三辞讓シテ椅子ノ側ニアリ接伴ノ者出來トウシテ  
 レハ客椅子ヲハナレ手ヲ拱シテ恕罪ト云ハ相伴人モ拱手ゴメン  
 シテ揖ス禮義畢リテ天色和暖チンフェホツナン○好熱ハツツセ○阿凉快ア、リヤンクワイ○冷得緊リンバキン○  
 好天ホウテン○下雨ウサイ○久違キウタイ○尊翁好麼ツエンチンハツマツ○尊體ツエンタイ沒有メイウ和麼ホマツ○長久不ツヤンキウゴ  
 得拜候ナハイカウ恕罪ソツツイ々々ククナド其時候ニ順ヒテ挨拶シテ互ニ請坐トツインソイ  
 云テ客椅子ニ坐セハ相伴モ側ノ椅子ニ坐ス客貴人ナレハ

相伴人坐セス侍立ス中等已下ナレハ共ニ坐ス何レニテモ  
 主人ハ下坐ノ椅子ニ坐ス坐定リテ主人上茶ツヤンチャイ又ハ献茶ト云  
 ハ客不勞賜茶ト云僕茶ヲ盆ニ乗セテ一ツ宛持チ出ル○茶  
 ハ葉茶ヲ茶碗ニ入湯ヲサシテ蓋ヲシテ持出ル土瓶ニ煎シ  
 タル茶ヲ出スナシ○主人坐チ立テ茶ヲ請取り衆客ニ一  
 々手ニ持テ贈ル主人拱手シテ請用茶ト云ハ客各々辞儀チ  
 シテ茶ヲ吃ス主人モ吃ス客茶ヲ手ニ持ナカラ請收茶碗ト  
 云ハ僕盆ヲ捧ケ出來ル各々茶碗ヲ盆ニ置ク僕茶碗ヲ引ク  
 ニ跡スサリシテ客ニ背ヲ向ケス是ハ上客ヲ款待ノ禮ナリ  
 次ニ龍眼湯扁豆湯等ヲ蓋茶碗ニ盛り盆ニ乗セ出ス七ヲ添

ニ主人一々客ニ勸メ客吃シ畢リ之ヲ引ク此キ客方ノ僕各々其主ノ烟管煙包ヲ取次ヲ以テ出ス手爐ニ火ヲ入レ客々ノ側ヘ置ク互ニ談話ス主人程ヲ見合セ請進書房少叙ト云ヘハ客立テ書房ニ入り談話ス主人僕ニ云付テ卓子ヲ出サシム卓子廳堂ニ出レハ客ニ向ヒ請上席ト云客多謝ト云テ廳堂ノ席ノ卓子ニ就ク僕錫ノ酒瓶ヲ持出ル主人是ヲ取リ上客ヨリ追次ニ卓上ノ猪口ヲ起シ酒ヲ盛ル客立テ多謝ト云テ猪口ヲ取ル主人我カ猪口ヲ取リテ客ニ向ヒ請干ト云客各々猪口ヲ取り飲ム何レモ飲畢テ主人上菜ト云僕菜ヲ持出ル卓子中ヘ置キ請菜ト挨拶スレハ客立テ禮ヲナサン

トスルハ主人不敢ト云テ止ム主人見合テ外ノ盃取寄セ客ニ向ヒ要奉敬一盃ト云テ盃ニ酒ヲ盛テ勸ム客受ケテ敬願ト云テ吞干シ其盃ニ酒ヲ盛リテ主人ニ向ヒ勸メテ回敬ト云主人受ケテ飲ミ追次相伴ヘ廻盃ス各々取り遣リス肴ハ銘々勝手ニ取リテ吃ス酒酣ニナレハ樂人ヲ出シ鼓樂唱曲多クハ迎仙客或ハ豁拳酒令○酒令ハ小カルタニ畫アリ各々一枚ヅ、取ル其畫ニヨリテ飲ムモアリ飲マヌモアリ猜三ヲ催シテ酒ヲ勸ム○猜三ハ卓上ニ用意セル西瓜核黑豆等ヲ用我カ國ニテハ箸ヲ折テ用ユ○各々興ニ乗シテ酒ヲ酌ム菜數半ハニ至ル比客ヨリ酒モ過分ナリ酒醉肉飽



不必再費心ホビ ツイワイ スイント挨拶ス主人キイカン豈敢無甚可口菜蔬ソノアゴケイ ツワイ スウ怠慢得メイゴ緊請寬キンツインツワン  
 懷暢飲ワイチヤント云又菜數四五椀出シ點心又醒酒湯スイツウツクヲ出シ茶ヲ出  
 ス又菜ヲ出シテ酒ヲ勸ム定式ノ菜數出シ畢レハ客請収席ツインソツク  
 ト挨拶ス主人酒モ能程ト思フコト飯ヲ進スベシト云ハ客  
 ハ酒過分ニテ飯ヲ吃スル能ズト答フ酒量ノ淺キ者ハ少ヤ  
 飯ヲ吃ス飯畢レハ卓子ヲ収ム來客ニハ酒ヲ專ラトスル故  
 我カ國ノ如ク本膳等ノ事ナシ卓子引ケテ眞鍮ノ面盆ニ湯オモチタロヒ  
 ナ取テ臺ニ乗セ廳堂ノ側ヲ置主人客ニ請解手ト云客各ツインキヤイソツ  
 ヲ手水ヲ遣フ湯ハ一人毎ニ汲カヘルナリ畢ツテ元ノ椅子  
 ニ座シタルト茶ヲ出シ回千キイツクヲ出ス砂練菓子菓實盤 豚玉子等ナリ 其後ニ十錦キン盃ガイ

ニ〇大盃也十錦出ノ陶器也三ツ組五ツ組七ツ組等ナリ〇  
 酒ヲ盛テ勸ム客領シ畢レハ相伴人領盃等アリテ回千キイツクノ菜  
 子肉類ヲ食フ程ヲ見テ客ヨリ多蒙盛設實不敢當好収盃トオアモン シンセツボ カンダン ハツソツク ガイ  
 云ハハ主人豈敢再請ナド云テ再三勸メ席ヲ収ム回千引テキイツク  
 又茶ヲ出ス飲ニ畢リテ客立テ主人ニ向ヒ今日相擾蒙賜佳キンツク スケンビロモン スウキヤク  
 肴多謝々々要告辭ト云テ暇乞シテ立ツ主人豈敢今日蒙光キイカン キンツク モンクワン  
 臨多慢々ト互ニ一揖シ客手ヲ拱シテ相伴人エモ多蒙款待トウモン クワンダイ  
 ト挨拶スレハ相伴人同ク拱手豈敢々々ト云テ送り出ル客キイカン  
 請留步ト云廳堂口迄送ル客主人ニ向ヒテ不勞遠送ト云ハホロウエンソ  
 主人再容少送ト云テ門前迄送ル客ニ馬駕籠アレハ主人拱ツイコセツク

シテ請坐ツインソイキヤツツインゴイ橋請騎馬ツインソイキヤツナド、云客モ拱ホウテ不ホ敢請回ツインソイト云主人再セウリキヤツ

○坐順ハ上客第一位年長二位若年ハ三位親類會合ニハ年

長一位母方二位父方三位又賓主差向ノヒハ右ヲ賓左ヲ主

トス又父叔舅先生等ト一坐ナレハ子姪セイゴ弟子等ハ椅子ニ坐

セズ挨拶ヲ受ケテ後ニ坐ス主ハ下坐ノ定メ也都テ右賓位

上左主位下トス客貴賤ノ別アリ共間ヲ隔ル等ノ事ナシ

○晝ノ客ニテ暮方ニ濟メハ其夜引續キ相伴人親友ナド打

寄リテ客濟ノホウキ恭喜コンキト稱シ改メテ酒宴ヲ設ク酒肴殘物ヲ用

ヒズ新タニ用意スル也○客席ニ鼓樂或ハツライヒ做戲セウキヲ催シタル

トモ席中ニテ踊ルヲナシ庭先ニ戲臺ヲ設ケ踊ラシム鳴物

斗リ成レハ席中ニテ奏ス

○客貴人ナレハ翌日主人禮ニ行クソ昨蒙ソクモウ光駕クワ遂スエ壁ヒ生セイ耀ヨウ特トク來ライ

拜謝ハイゼエト云客在宿ナレハ堂ニ謝シソ昨承ソクゼン厚待コウタイ盛設セイセツ多謝タゼエ々々ナ

ド、挨拶シ茶ヲ出シ談話ス不在ナレハ取次ノ者ヘ言置テ

歸ル客方モ一兩日ノ内ニ禮ニ來ル互ニ紅唐紙ノミンガ名帖ナカシヲ用

ユ

○婦女ハ親族ノ外招ク事ナシ男女同席セス○年禮諸吉凶

寛舞等ニ來ル客ニハ廳ヘ請シ茶ヲ出シ又有合ノ菓子二三

種モ出シテ談話ス主客對坐ニテ見ニ

○吊喪ノ客ニハ親類ニアラザレハ見ヘス客一揖シテ哭シナクシ

不潔ト挨拶ス主人答禮哭シテ特蒙屈駕多謝ト云舉リテ椅クニヤニカウシテアツタリ

子ニ坐シ談話ス法會ニハ親類朋友ヲ招請ス饗應ニハ素菜スツアヒ

ナリ禮讓常ニ異ルヲナシ鼓樂器等ハナサス

○客來ル時門番人居レハ小者ヲ遣シ某相公在座主人ハクニヤコト在宿

ナレハ相公在家請進ト云テ主人ニ達ス門番ナキ處ハ小者

ナ内ニ入レ問ハシム主人不在ナレハ彼方ノ僕出デ來リテ

東人不在家ト云僕ニ向ヒ某特來問候ト云置歸ル供ナキ客

ハ自身ニ門内ニ入り某翁在座又某兄ト云ヘハ内ヨリ主人

又ハ奴僕出來リ對面ス主人不在家僕モ居ラザレハ女房出

テ内房口布簾ノ内ヨリ主人不在家是那位ト云何某ト答ヘ

用事アレハ云置クナリ

○病氣見舞ニ客來レハ子孫伯叔兄弟ノ内出迎ヒ應ヘ請シ

應對ス病床ニ至リ見ヘ度ト客云ヘハ主方不敢ト答ヘテ止

メル熟懇ノ人ナレハ禮讓シテ病床ニ通シ見ヘシム客ニハ

椅子ヲ設ケ坐セシム病人ハ床ノ上ニ坐シ衣服外套ヲ着シ

帽子ヲ戴キ拱手コノム恕罪ト云客ハ病ヲ問フ子叔兄弟側ニ侍シ

テ答話ス客立テ病人ニ保重ト云テ出ル病人拱手答禮シテ

得罪不送ト云ハ客豈敢請便ト云テ別ル、也大病ニテ起座

セザレハ臥タル儘外套ヲ覆ヒ子叔等客ニ向ヒレツク恕罪ト云客  
 病ヲ訪テ直ニ出ル子叔等廳堂ニ請シ應對ス至親ノ友ニ非  
 レバ敢テ病床ニ至ラス  
 ○初テ人ヲ訪フニハ紅唐紙ノ名帖ヲ出シ某特來拜望ト云  
 取次主人ニ達ス主人逢ハント思ヘハ廳へ請ス主人出來レ  
 ハ客一揖シテキウニヤンカウシ久仰高名特來拜ハシラシキヤンカウシ識ト云主人豈敢有失迎キイカシヨクシ返ト  
 云テ答禮シ互ニ叙話シ主人請座ト云テ椅子ヲ進ム客不敢  
 ト揖シ座ス主人モ座シテ談話スルナリ

生 死

○婦人孕ム事アレハ縮綿木綿ノ類一幅長サハ其肥瘦ニ應  
 シハツ肚帶ヲ腹ニ巻クオシバツ穩婆又収生婆ヲ呼ヒ三五日間ニ腹ヲ按  
 摸セシム臨月ニナレハツアツツ草紙襦袢ヲ用意シ産氣付タルハ床  
 ノ上ニソコ褥子ヲ敷キ安臥シテオシバツ穩婆ニ腹ヲ擦ラセ彌臨ミタル  
 時婆々腰ヲ取時刻ヲ考ヘ力ヲ添ヘ産マシム産ミ落セハ婆  
 ヲ小兒ヲ取上ケ手足身体ヲ改メ竹籠ニテ胎衣ヲ切りツク臍帶  
 ノ切口ヲ絹ニテ緊ク結ヒ能ク包ミ卷付ケ置甘草湯ヲ以テ  
アイト嬰兒ヲ洗ヒ綿或ハ木綿ヲ以テ包ミ上ハハカキヤン襦袢ニテ包ミ人ノ  
アイト懷中ニ抱カシメ置キ母ヲ産屋又産臺ニ至ラシム産臺ハ常  
 ノ床ノ上ニ左右へチヤ褥子ヲ積重子身体ノ動カヌヨウニ安坐

セシメ十日又ハ七日程モ平臥セシメズ糯米ノ粥ヲ吃セシム  
 多食ヲ禁ス其后チ飯ヲ食ス三十日ノ内ハ魚肉油物ヲ忌  
 ムセシメヨリハハカク姜辛鹹味ヲ忌ム五七日過テ鹹味ヲ少シヅ、吃セシム七  
 日ノ間ハ砂糖汁ニテ蓋母草ヲ煎シ飲マシメ瘀血ヲ去ル産  
 瘵ニ居ル内ハ老女阿媽ノ類晝夜附添産婦ヲ看護ス  
 ○胎衣ハ小キ磁器ニ入テ蓋ヲシテ包ミ居宅ノ内清淨ノ空  
 地ヲ撰ミ埋ム○嬰兒ヲ洗フキハ甘草湯ニ盥ヲ少シ入レ小  
 キ鹽ニ入レテ洗フ膩粉ヲ細末ニシテ搥身ニ塗ル五六日過  
 テ臍帶ノ切口乾キタレハ卷タル切レテ解ク○小兒ニ乳ヲ  
 付ルコト廿四時ヲ待テ乳汁ヲ吞マシム其間ハ牛糞黃連湯ヲ

吞セ又葡萄大棗ヲ搗碎キ煎シテ汁ヲ吞ス胎毒ヲ去ル  
 ○三日目或ハ五日目ニ麥ノ粉ニテ餅ヲ作り祝ス是ヲ湯餅  
 會ト云此日男子ナレハ名ヲ付ケル阿福阿壽ナド云ヘル吉  
 利字眼ヲ用ユ阿ハ發ツ女ハ幼名ヲ付ス都テ一娘二娘大姐二姐  
 ト呼フ是女子ノ稱ナリ子ヨリ母ヲ娘ト稱ス父母ヨリモ女  
 子ヲ娘ト呼フ愛スルノ意ナリ嫁シテ后チハ里方ノ姓ヲ呼  
 フ王氏ナレハ王娘張氏ナレハ張娘ト稱ス此湯餅會ノ日ハ  
 嬰兒ニ湯浴サセ袖ノ付タル衣服ヲ着セシム親族朋友ヲ請  
 シテ祝宴ヲ開ク親友ヨリ雞鴨ノ卵ヲ赤ク染三ツ或ハ五ツ  
 贈ル主シ方ヨリモ卵并ニ餅ヲ贈ル

○三十日目ヲ滿月ト云壽星菩薩ニ參詣セシム我カ宮宅ニテ  
 ハ客ヲ請シ祝宴ス胎髮ヲ剃テ直ニ腦碎キタル葉茶ヲ小兒  
 ノ頭ニ擦リカケル又杏仁薄荷ヲモ用ユ髮ハ押カタメ五色  
 ノ糸ヲ以テ結ヒ小兒ノ寢所ニ掛ケ置ク  
 ○百日目ニ又客ヲ請シ祝チナス客方ヨリ鞋襪肚兜衣服魚  
 肉等ヲ贈ル周歲ニハ一年小兒ノ長成ヲ考フトテ廳上ニ卓ヲ  
 設ケ上ニ毛氈ヲ敷筆墨書籍金銀算盤等ヲ并ヘ置是ヲ小兒  
 ニ取ラシム筆ヲ取レハ文筆ニ達シ書籍ヲ取レハ學問ヲ好  
 ム金盤ヲ取レハ商業ヲ好ム等ヲ占フナリ幼年ヨリ其好ム  
 所ヲ以テ教育スルナリ

○我カ國ニモ往昔ハ此事アリシニヤ木曾義仲幼少ノ時  
 權頭兼遠カ家ニ養ハレタルト兼遠文武ノ諸品ヲ陳列シ  
 テ見セケレハ駒王義仲ノ幼名弓矢ヲ取シ故專ラ武事ヲ教ユ果  
 シテ天下ニ名ヲ顯ハセリ豊公ハ幼弱ヨリ軍事ヲ聞クヲ  
 好ミ空海勝道ノ徒幼ニシテ塔ヲ積ミ經ヲ誦ス自然生質  
 ノ然ラシムル所也人ハ好ム所ニ依テ教育スレハ必ス成  
 就ス洋法又學科ヲ分チ其好ム所ニ就テ一科ヲ學フ小兒  
 教育ノ道古今東西差別ナシ先轍ヲ踏ムヘク好マサル所  
 ナ以テ攻ムヘカラス  
 此日親友ヲ請シ祝宴ス贈答滿月ト同シ

○胎髮ウミカミハ殘ラス剃モアリ又ボンノクボカ額ノ際ニ少シ殘  
 スモアリ四五歳ノ比ヨリ髮ヲ延ス何レモ小兒ヨリ花帽子  
 ナ戴ク女子ハ額ノアタリ又ハボンノクボニ少シツ、髮ヲ  
 殘シ十歳程ニ成テ披髮ヒキカミトテ額際ノ髮ヲ長サ五六分位ニ切  
 リ額ニ垂レ切禿ノ如クシテ包搭ツツタキモノ頭巾ノ如ク戴ク十三歳ニ  
 ナリテ髮ヲ殘ラス養ヒ包頭ツツタモノ大ナルヲ用テニ雲髮クモカミヲ分ケ金  
 銀珠玉ナトノ簪ヒヤシユヲ用ユ香油ヒヤシユヲ以テ髮ノ色ヲ潤ス男女共ニ  
 誕生シテ周歲マテ祝ヲナシ其後ハ十年日毎ニ誕生日ノ祝  
 宴ヲナス

○女子ハ七八歳ニナレハ纏脚布ゼンキヤブツヲ以テ足ノ先ヲ固ク卷カ

シメ包ニ置ク足ノ大キクナラヌ爲メニス故ニ七八年ヨリ  
 ハ妄リニ他行セス若シ出ルニハ都テ轎キヤツヲ用ヒ步行セシメ  
 ス近所行ハ婢ベジスノ付添ヒ手ヲ携ル貧賤ノ者ハ足ヲ卷カス歩  
 行自在ナリ女子ノ足ヲ卷クノ何レノ代ニ始リタルヤ詳カナラス足ヲ包ムテ小ニスルハ所謂世界  
 三奇ノ一ナリ三奇トハ我カ國ノ女ノ巾廣帶支那女ノ小足  
 西洋女ノ裾開キノ衣服也三條トモ其何ノ爲メナルヤヲ知  
 ラス

○出産ノ時醫師ヲ招カス若血暈カ難産ナレハ醫師ヲ呼フ  
 我カ國モ同シ自藥ノ法血暈發シタル時ハ石或ハ鐵ヲ火ニ燒テ磁器  
 ニ醋ヲ入レ産婦ノ鼻ニヨセテ嗅セテ醒覺スイキヤセシム又産後即

時ニ盞シヤウ便一盞シヤウ天月テンゲツヲ飲マシム血量ヲ治スト云○嬰兒誕生ノ  
后ノチ母ノ乳無キハ乳母一ニ養娘トモ云ヲ抱ヘテ吃乳セ  
シム

○死 父母死スレハ子孫ノ男女号泣ニ堪ス子タル者ハ斬  
哀ト云テ麻布ノ粗ナル裾ハ切タル儘ヲザツト縫ヒタル衣  
ヲ着ス其外ノ叔弟等ハ齊哀總麻ト云喪服ヲ着ス從僕迄モ  
帶孝ス喪服ヲ着スルヲ 黒布ニテ仕立タル主人ヨリ與フルナリ  
喪中男女同席セス父母ノ喪ニハ子孫男子ハ外廳トモヘ薦ヲ敷  
キ住居ス内房ヘ入ラス飲食粥素菜ヲ食フ婦女ハ内室ニテ  
喪ヲ勤ム若シ用事アレハ内房口ニテ面會用事ヲ達ス他ヘ

嫁セル姉妹モ素服シテ喪ニ奔ル喪中門口ニハ粗麻布ヲ長  
サ一尺程ニシテ一幅門ノ上カケニ掛ル○掛布ハ父母ニ限ル  
余ハ掛ケズ○商人ハ一兩日休業ス喪中商賣工業等ハ喪服  
ノ儘勤ム身屍ハ新シキ布ヲ以テ湯ニ浸シ沐浴ス惣身殘ラ  
ス拭フテ月代サカサカヲ剃リ辨髮ヲ梳テ打直シ蒲團ノ上ニ寢セ置  
キ新キ衣服ヲキセ帽子ツツ鞆ツツ子ツツモ新シキヲ用ヒ枕ヲサセ置ク  
入殯ノ道具ヲ揃ヘ衾ヲ以テ遺骸ヲ包ミ棺ニ蒲團ヲ二ツ三  
ツ敷テ入棺ス多クハ夜ル親類打寄りテ取収ム棺材ハ杉板  
ヲ用ユ人々ノ貧富ニ依テ入念粗末ノ差別アリ記スル所平  
民上等ノ風習ナリ富人ハ六十歳ヲ過レハ棺材ヲ用意ス是



ナ壽板ト云太平車又太平板ト云○入棺齊テ廳上ニ白木綿  
 又ハ白紗綾等ノ幔ヲ張り中央ニ脚ヲ置テ靈柩ヲ居ヘ前ニ  
 卓ヲ置キ木主ヲ居ヘ香爐花瓶燭臺燈籠ヘ火ヲ点シ備ヘ物  
 ハ四十九日ノ内ハ野菜素食酒ヲ奠ス四十九日過レハ葷肉  
 ナ備フ毎七僧ヲ請シ誦經ス齋ヲ出ス五七日ハ道士ヲ請シ  
 法會ヲ行ヒ親友ヲ請シ僧道共ニ齋ヲ出ス  
 ○葬送ハ貧富ニテ即日又ハ二三日三十五日百日一年二年  
 ナ經テ出ス事均シカラス三年過テ出殯スルモ當日ハ子孫  
 素服ヲ着ス入棺ノ後チ外廳ヘ柩ヲ安置シ出葬迄其處ヘ置  
 若一年已上モ留置ハ外廳ノ庭ヘ假埋シテ置ク大家人口四十  
已上ノ家

葬ノ日柩ヲ羅紗等ニテ覆フモアリ小家人人口四五  
人已下ハ木綿等ニテ  
 覆フ柩前ニ卓ヲ居ヘ野牛豚鷄鴨等ノ全体其外山海ノ菓物  
 等ヲ備ヘ酒ヲ奠シ香ヲ焚子孫ハ柩ニ附添ヒ送殯ノ人々柩  
 前ニ拜スレハ一尺二三寸程ノ白木綿チ一人ニ一切ツ、配  
 ル吊客此白木綿ヲ持歸ル之ヲ利市布ト云出葬ノ行列先ニ  
 紅白ノ絹ノ旗ヲ左右ニ立テ次ニ燈籠香亭鼓樂綵亭靈柩寢  
 棺也柩綱ニテ擔ヒ施主ハ左右ニ添フ白木綿六七尺ヲ額ニ當  
 テ後ロニテ結ヒ余ハ左右ニ垂レル道スカラ哭ス親類ハ白  
 木綿ヲ頭巾ノ如クシテ冠リ一人ハ銘旌ミンシイヲ持テ其余ハ柩ニ  
 係ヒ綱ヲ持行ク也是ヲ緋ト云樂ハ笛太鼓簫雲羅噴呐ヲ用

ニ女ノ供ハナシキヤ暖橋ニ乗ル外ヲ白木綿ニテ覆フ柩ヲ墓所ニ送  
 リ來リテ衆禮拜ス土中ニ葬リ六石ヲ蓋ヒテ土ヲ覆ヒ上ニ  
 石碑ヲ建ル柩ヲ納ル穴ヲ壙ト云俗ニ金井キンツイン及地宮ト云葬リ  
 終テ線香ヲ焚キ燭ヲ点シ冥衣メイイ紙シツ大金紙ダイキンシツヲ燒ク紙ニ衣服金銀ヲ  
押シタル也喪  
 中親類朋友ヨリ野菜菜物等贈リ物アリ  
 ○他郷ニテ死スレハ葬送ノ柩上ニ白鶴ニツク一番ヲ生ノ儘ニ  
 テ結ヒ付ケ置ク是ヲ領魂リウコン鶏ト云魂魄ヲ故郷へ伴ヒ歸ルノ  
 意ナリ  
 ○墓所ハ祖先ヨリノ處へ葬ルモアリ又ハ新タニ墓地ヲ求  
 ムルモアリ都テ山手ニテ見晴シ能所ヲ求ム樹木ヲ植ヘ墓

ノ内ヲ方ハツ輓ト云兆域ノ廣狹官制ナシ貧富相應ヲ度トス  
 ○喪退キ 五十日テ朦中尋問ノ禮謝トシテ各家へ至ル紅唐紙  
 ノ名帖シテニ名ノ處ニ青紙ヲ掛ケ門口ヨリ取次ニ出ス○中陰  
 過テ 五十日 后ハ正當忌日バカリ家廟チヤウフへ供物ヲ備ヘ酒ヲ奠シ  
 香燭ヲ点ス年忌ハ三年十年廿三十四十五十百二百年ト追  
 次ニ祭奠ス僧道ソウダウヲ請シ誦經ス極貧下賤ノ者ハ諸道具調ヘ  
 ハ直ニ入棺ス喪ヲ勤ル事能ハス翌日ヨリ商賣工業スル也  
 ○家廟チヤウフヲ拜スル時無常ムツウ迅速ソクソク一心念佛イツシンニッポフ南無阿彌陀佛ト唱ヘ  
 木魚モイヲ敲キクモアリ

祭禮

○土地宮福德神ト稱シ土地ノ守護神ナレハ郷里村落神祠  
ナキ所ナシ二月二日聖誕日トシテ祭祀ス神体詳カナラス神前へ三牲  
供物ヲ備へ香燭ヲ点シ祠官奠酒禮拜ス參詣ノ男女群集ス  
私祭ナリ

○城隍神古へ其地ニ徳アリタル賢人ヲ城隍神ト崇メ祀リ  
守護神トス春夏秋冬三度ノ祭リアリ此祭祀其地ノ知縣預ル  
故先ツ官祭ノ格式ナリ官員參拜ノ跡諸人群參ス鼓樂ヲ奏  
シ神輿ヲ渡ス供物香炉三牲等種々ノ上供アリ

○天后聖母又天妃又娘娘々々俗ニ媽祖娘々々海上ノ守護神ナリ此神ハ宋朝建隆元

年三月廿三日福建興化府湄州ニテ生ル父ハ林氏朝ニ仕ヘ  
テ刺史ノ官ニ致リ致仕シテ後チ天后ヲ生ム后幼少ヨリ賢  
徳高シ十六歳ノ時道士ヨリ道ヲ授リ修行シ廿八歳ノ年九  
月九日白晝ニ神ト化シ高山ヨリ昇天ス世々感應著シ信仰  
祈誓スルニ應ゼザルト無シ代々ノ帝王封贈ノ勅アリ清ノ  
康熙廿三年ニ天后ト封贈シ春秋祭祀ヲ行フ湄州ハ誕生ノ  
地ナレハ大ニ神廟ヲ造營シ神靈ヲ安置ス其外京師諸省ニ  
神祠アリ門前下馬牌ヲ官許ニテ建ツ祭祀ハ官祭ニテ大率  
種々ノ供物玉帛香燭ヲ奠シ祭式ハ其地ノ官吏之ヲ司ル帝  
ヨリ禮部官ノ内承祭官ヲシテ祭文香帛ヲ捧ケ玉ヲ則チ勅

使也渭州ニ至リテ祭ル京師ニテハ天子モ參拜アリ支那ノ  
一大官祭ナリ勅使參拜后諸人群詣ス樂ヲ奏シ戲臺ヲ設ケ  
做ス戲キヲ催ス官民奉納ノ玉帛金銀山ノ如ク祭禮ノ式至テ殿  
正也

○關帝則三國蜀漢ノ關聖帝君又關菩薩ト稱ス武運ノ守護神ニ  
シテ威靈感應顯著ナリ武官ハ勿論官民信仰尊敬他ノ神ニ  
超ヘタリ諸省諸府縣神廟至ル處ニアリ武廟ト唱ヘ村落ノ  
庶民ト雖モ信仰セサルヲナシ清ノ雍正中ニ臺灣ノ賊徒起  
リシキ靈驗有テ平定ノ後チ加封アリテ靈佑大帝ノ尊号ヲ  
贈ラレ春秋官祭門前ニ下馬牌ヲ立ツ大祭日ハ五月十三日

雜事

歸天ノ日ヲ用ユ大年ノ祭リニシテ戲臺做戲音樂諸奉納勅  
使參拜官民群參等都テ天盾祭ニ同シ  
○四季神佛ノ祭禮ヲ記スルハ歲時ノ部ニアレハ畧ス  
○先祖ノ法事ヲモ祭リト云其式死ノ部ニアレハ畧ス

○朝起レハ梳洗シスウ内房ノ椅子ニ坐シテ茶ヲ吃シ煙ヲ吸ヒ  
家廟并ニ信仰ノ神佛ヲ拜ス畢テ粥チヲ食ハズ吃ス他出ニテモ  
スルキハ肉クニ麩コヲドナ食スルヲモアリ衣服ハ常ニ木綿絹紬  
ノ小衫スヤウサンノ上ニ背心馬襪ボイ或ハ袍ト云類ヲ着ス頭ニ陞帽ソウイマツヲ戴

キ人ニ面會スルカ外出ノキハ大帽ヲ戴キ外套ヲ着ス食事  
 ハ男女同席セス内外房ニテ吃ス食後ハ行商工人脚夫坐商  
 等何レモ夫々ノ家事ヲ勤ム婦女ハ早朝内房ニテ身仕舞シ  
 椅子ニ坐シ針線等怠ラス大戸ノ妻女ハ衣類ヲ縫事ナシ細  
 工物又ハ繡花桃花ナドスルモアリ中小戸ハ夫ノ衣ハ必ス  
 婦ノ裁縫スルナリ

○平常立居ニ能ク心ヲ付ケ歪斜セス困倦ストモ怠容セズ  
 又家内ニ祭ル佛神ハ天后聖母關老爺觀音菩薩等各信仰ニ  
 任ス

○朋友ノ採望又ハ用事ニテ來レハ奴僕公堂ニテ迎フ客ヨ

リ主翁在座ト云不在ナレハ有事出外不在家裡ト答へ在宿  
 ナレハ請坐ト云テ客ヲ椅子ニ坐セシメ内ニ入テ某相公來  
 リ玉ヘリト云主人出テ勞駕ト云客ヨリ驚動ト云テ互ニ用  
 談ス親類ナレハ奥ノ居間へ通り某翁在座ト云へハ不在ナ  
 レハ婦姑等出迎へ萬福シテ寒暖ヲ話ス女ハ拜ト云ズ萬福  
 ト云朋友ニハ堂客女ヲ堂客出デズ客歸ルキハ門口或ハ外廳迄  
 送ル此時客ヨリ請留少ト云ハ主人免送ト云凡客來リテ主  
 人不在ナレハ取次ノ者東人不在有什麼貴幹說把我ト云ハ  
 云置クヘキ用事アレバ言置キ僕ニ言難キ用事ナレハ令郎  
 在座某伯某叔在座ト問テ某在ト云キニ其人ニ逢ヒテ云置

ク妻女ニ面會ヲ乞ハス小戸ニテ奴僕ナキ者ハ妻女内房ノ  
口ニ出テ布簾フスマイシニ應答ス

○日用ノ伏カケ儉ソハ士農商共大戸ハ買辨マイベト云者アリテ厨下ノ  
諸入用料理等ヲ主任ス又管家ト云テ金銀出納商用等ヲ主

任スル者アリ我力支配人番頭中戸己下ハ主翁自身ニ取斗フ也  
○沐浴モハ曆本レニ湯モ沐モノ日剃頭カノ日アリ夏ハ三四日目ニ浴

ス多タ少シ浴盆ヨニ湯ヲ入レテ手巾テヲ浸シ惣身ヲ拭フナリ農夫  
雇工ノ如キハ浴室ヨニテ湯モ沐モス又盆湯ト云アリ一人一ツ宛

ノ木盆モヲ備ヘ一間ツ、仕切リテ一人ツ、浴セシム  
○冬ハ手炉テヲ用ニ極寒ノ時ハ脚炉キニ火ヲ入テ灰ヲ覆ヒ椅

子ノ前又ハ睡床オノ前ニ置テ足ヲ温タムルナリ

○往來ノ書幹テハ皆唐紙又ハ斗方花箋紙ナド、云紙ニ書ス  
封筒ホニ入レ僕ニ持セ遣ス拜盒カニ入レルモアリ吊喪ニハ白

紙ヲ用ユ願書ハ奏本紙ヲ以テ折紙ニシテ上ニ全啓副啓ト  
云此紙ハ野ノチ紅粉摺ナドニシテ用ユ是テ格紙ト云

○烟包エンハ巾着ニシテ烟筒エンノ棹ハ長サ二三尺位ノ紫竹方竹  
通天竹テンナド、云竹ナリ上下ハ白銅ベニシテ吸口ニ象牙ヲ付

ケタルモアリ富人ハ銀ギヲ用ユ

○奴婢ハ幼年ヨリ一生買切ニシテ仕フ買法ハ身價シ金何程  
ト極メ其親ヨリ賣身マイ契ケヲ出ス成長ノ後贖身ゲセント思ヘハ

百三十七

元極メノ身價金ヲ納テ引ク也又實體ニ勤レハ主人ヨリ世  
帯ヲ搦ヘ遣シ又婦ヲ娶テセ夫婦共召仕フモアリ下婢モ同  
シ事也

○吉凶アル時非人門前ニ來リテ祝儀ヲ乞フ夫々ニ米錢ヲ  
取ラス又前ニ甲頭ヲ呼ビ錢ヲ遣シ當日來ルヲ禁ズルモア  
リ錢ヲ取ラズレハ甲頭收票ヲ門ニ貼ス非人來ラザルナリ  
○官衙ヨリ尋問又ハ用事アレハ承局ニ帖ヲ持セ遣ス居宅  
不分明ナレハ其衙ノ保長ニ達シ本人ニ通ズルナリ  
○衙門ハ吏胥卯ノ刻ニ出仕ス本官堂ニ出レハ皂隸先ツ領  
分牌ヲ持出ス諸官所ヨリ公文ヲ下吏ニ渡シ傳遞ニス可ハ

舖司ニ渡ス次ニ投文牌ヲ持出レハ訴訟ノ者訴狀ヲ公案ノ  
上ニ置次ニ稟事牌ヲ持出レハ機密ノ事ヲ本官ニ直達ス右  
ノ事々濟テ過犯ノ者ヲ呼ヒ出シ裁許ス吏胥卯ノ刻衙門ニ  
出仕ス是ヲ點卯ト云フ午ノ刻退食ス午飯スンデ又出仕ス  
用日ヲ放告日期ト云政事裁判司ル我カ  
發給ノ町奉行ノ如シ  
○農家ハ朝早ク起テ耕作ヲ勤ム晝食ハ近所ハ歸宅シ遠方  
ナレハ食菜ヲ竹籃ニ入レ婦女等持行テ吃セシム暮前ニ歸  
宅ス耕作繁忙ノ時ハ婦女モ共ニ出ル下作年貢納メ其外ノ  
事大体我カ國ニ變ルヲナシ  
○農商共ニ人別ヲ花名ト云戸別ヲ花戸ト云十軒ヲ一組ト

シ頭ヲ戸頭ト云戸頭ノ頭ヲ甲長ト云惣頭ヲ里長ト云  
 ○醫家ハ門ニ招牌チネツハイヲ出シ置ク官醫ハ招牌ヲ出サス病人アリテ醫師ヲ請スルニハ使ニテ申シ遣ス小醫ハ歩行大醫ハ乘轎ス病家ニ來レハ外廳ノ口迄出迎ヘ廳上ニ請ス茶ヲ勸メ畢レハ醫師ヨリ有病ユキ貴府何人ト問主人某々ト答ヘ容躰ヲ云ヘハ病床ニ來リテ容躰ヲ見ル病人起テ脈ヲ診セシム若起坐ナリ難キ病人ハ臥タル儘ニテ脈床ノ上ニ置キ診察シ舌頭眼中背脚腹迄篤ト見テ廳上ノ椅子ニ戻リ主人ニ病躰治療ノ醫案ヲ語リ藥法ヲ書テ渡ス茶菓濟テ歸ル主人法書ヲ藥舖ニ持セヤレハ法ノ通り藥ヲ調合シテ買來ル醫師

藥ヲ持來ルト云フナシ

○通用貨幣ノ上品ヲ足赤金ト云次ヲ九程八七六トス何レモ交金ノ日方ニ依ル尤真吹ナリ分厘ノ小切ヲ零碎金ト云金ハ國ノ至寶ナル故平常買物ニ用イズ銀ハ元寶足紋元糸ノ名目アリ何レモ真吹也小買物ニ用ユル小粒ニヲ劈子ベキ又碎銀ト云入用ヅ、切遣ヒニスルナリ金銀坐ハ省府州縣共ニアリ兩替屋ヲ金店ト云又兌舖ホ金銀又傾銀匠トテ金銀ヲ鎔化シテ鑄型ニ入レ足紋元糸等色々ニ鑄立ルナリ元寶銀ニハ年月地名金銀匠ノ姓名ヲ記ス錢ハ我カ國ト同シ官庫ニ貯ヘ置物ハ皆元寶形ニシテ置事ナリ



○支那ノ旱路ハ三百六十歩ヲ里トス一步ハ小尺ニテ六尺四寸ナリ小尺ハ我カ方ノ曲尺ナリ一里ハ我カ六町弱ニ當ル村落毎ニ舖遞アリ官ノ繼場ニテ舖司一人舖書一兩人其村ノ百姓ヲ役ニ取ル舖司兵ト云京師ニハ堤塘ト云ル役所アリ一省々々ニモ設ケアリ都テ十八ヶ所アリテ官用ヲ通達ス人馬繼立テ勤ム農商私用ノ旅行人ハ繼場ニテ相對シ雇フナリ旅店ハ村落毎ニアリ是ヲ打火房ト云一宿二飯ニテ宿料ヲ勘定ス我カ國ト全シ上中下三等アリ

○水路ハ埠頭アリ官民共ニ此所ヨリ舟ニ乗ル其地ノ頭分ノ者船ヲ支配ス内地ニハ荷物人數ノ改メノ閘壩所々ニア

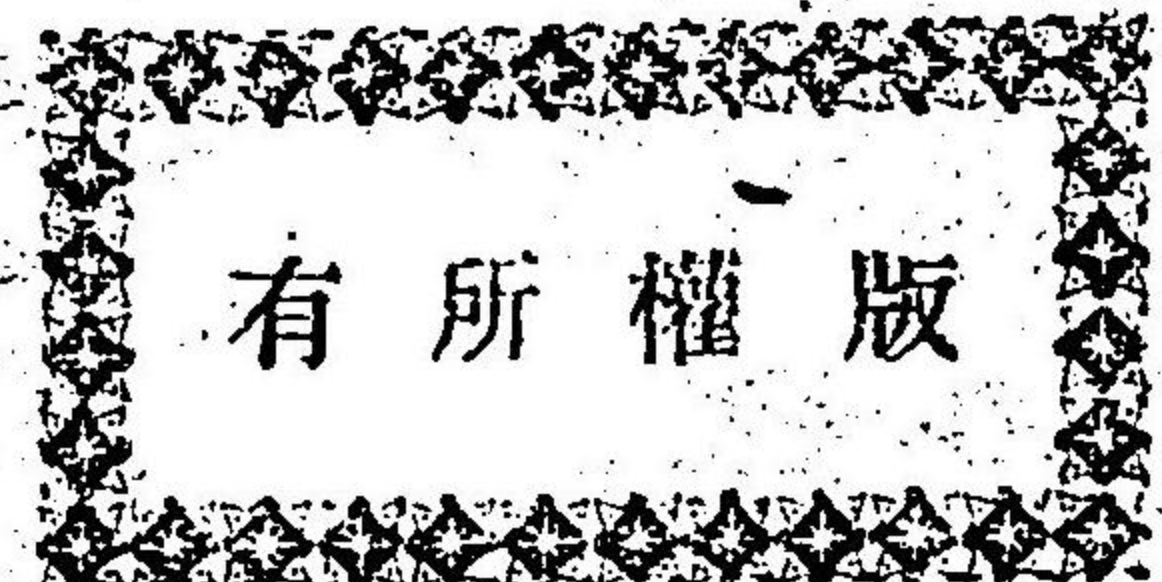
リ軍器茶盤等ノ官物ヲ奸商セザル爲ナリ

○民商外國ニ通商スルニハ船牌ヲ其地ノ知縣へ願ヒ領牌ス船牌合テ四枚アリ撫院ヨリ一枚是ヲ部照ト云布政司ヨリ一枚是ヲ司照ト云知縣ヨリ一枚是ヲ縣照ト云海防廳ヨリ一枚是ヲ廳照ト云右四枚ヲ持テ津口ノ塘汛へ至リ荷牌ノ改メテ受ル塘汛ヨリ其役所ノ印ヲ押タル紙ヲ縣牌ノミニ粘テ渡ス之ヲ掛號ト云

支那今言語風俗獨案内終

明治二十三年五月二十一日印刷  
同年同月二十三日出版

同  
版  
主



版權所有

編纂兼發行者

石丸喜輔

東京市京橋區銀座二丁目十四番地

印刷者

日進堂 喜田甚太郎

大阪東區平野町四丁目九十一番地

發行所

石丸商社分店

東京市京橋區銀座二丁目十四番地

賣捌所

石丸商社

大阪市東區高麗橋電信局前

15

29
1
122

五七  
三  
册

支那  
今  
言  
語  
風  
俗

027309-000-1

特26-885

現今支那言語風俗独案内

吉備 山人 / 編

M23

ADJ-0060



特  
885

